

深川市開村 130 年・市制施行 60 年記念事業

石に刻まれた歴史 深川の記念碑



令和5年1月

深川市

目 次

○ 発刊にあたって	1
○ この冊子を利用される皆さんへ	2
○ 深川市所在の記念碑等一覧（地区別）	3
○ 深川地区（27基）	12
○ 一已地区（42基）	26
○ 納内地区（16基）	47
○ 音江地区（31基）	55
○ 多度志地区（21基）	71
付録 深川市内記念碑位置図	

発刊にあたって



深川市長 山下 貴史

本市は、昭和 38 年に深川町、一巳村、納内村、音江村の 4 町村が合併して「深川市」が誕生し、昭和 45 年には多度志町も合併した歴史のある街です。それぞれの地区には農業開拓や環状列石などの歴史を感じる史跡があるほか、深川の歴史を記すさまざまな石碑、石像などの記念碑が多く存在しています。

このたび、開村 130 年・市制施行 60 年を迎えるのを機に、深川の歩みを物語る貴重な史料である記念碑の調査を行い、ここに 137 基を採録しました。

この調査を通して記念碑は深川の歴史を綴る貴重な文化資源であり、これからも地域の宝として、大切に継承していかなければならないことを改めて実感した次第です。

内容的には不十分な点もありますが、深川の歴史と変遷を知る手掛りとして、この冊子を広く市民の皆さんに活用していただければ幸いです。

最後になりましたが、この冊子の発刊に際し、ご協力いただいた皆さまに深く感謝申し上げますとともに、今後とも深川市の記念碑の保護にご協力賜りますようお願い申し上げますとさせていただきます。

この冊子を利用される皆さんへ

1. はじめに

- ・この冊子に採録されている記念碑（石碑）については、一部石材以外のものを含んでおります。
- ・石材で製作されていても次のものは採録を行っておりません。
 - ①単に施設の名称を表しているもの
 - ②市内に点在する地神宮・水神宮など
 - ③寺社などへの寄付者名を記したもの

2. 名称について

- ・原則として碑石等に刻まれた題字を名称としましたが、建立の趣意に沿うような名称を付したものもあります。

3. 建立の由来等について

- ・容易に判読できるものは、碑石等に刻まれた文字を記載しましたが、紙面の都合上、略をしたものや新字体で記載したものが 있습니다。
- ・碑文等が刻まれていない場合は、過去から今日まで関係者に聞き取りをした内容等が記載されているものがあります。

- 4. 不明なものは空欄、「－」又は「不明」とし、敬称は省略させていただいている場合があります。

深川市所在の記念碑等一覧（地区別）

深川地区

No.	名 称	所 在 地	建立年月日	設置者又は管理者
A01	記念碑	花園公園	大正 6 年 5 月	
A02	宇佐美常次郎翁の像	深川東高等学校	昭和 28 年 8 月 25 日	深川町
A03	青年の像	深川東高等学校	昭和 42 年	福井尚敏氏
A04	宇佐美常次郎翁の像	深川市立病院内	昭和 16 年 10 月	頌徳記念会
A05	深川町開拓五十年之碑	深川神社境内	昭和 17 年	深川町
A06	忠魂碑	深川神社境内	明治 43 年 9 月 4 日	深川地区遺族会
A07	功業不磨	深川神社境内	昭和 16 年 10 月	頌徳記念会
A08	創立 消防組記念碑	深川神社境内	大正 2 年 5 月 10 日	深川消防組員一同
A09	頭取 瀬川富次郎記念碑	深川神社境内	大正 12 年 2 月	
A10	畜魂碑	深川神社境内	昭和 54 年 6 月 1 日	深川町家畜振興協会ほか
A11	針塚	深川神社境内	昭和 59 年 6 月 2 日	
A12	神馬功德	深川神社境内	平成 4 年 10 月	神馬之像建立期成会
A13	獣魂碑	グリーンパーク 2 1	昭和 6 年 9 月	代表 上中富一氏
A14	新しい風	深川小学校	平成 8 年 10 月 19 日	開校百周年記念協賛会
A15	道営圃場整備事業記念碑	深川土地改良区	昭和 48 年 9 月 15 日	受益 6 団体
A16	1 0 0 年の礎	深川土地改良区	平成 21 年 8 月 28 日	深川土地改良区

No.	名 称	所 在 地	建 立 年 月 日	設 置 者 又 は 管 理 者
A17	旭川工業'96	生きがい文化センター		旭川工業高校同窓会北空知支部寄贈
A18	詩歌の散歩道	生きがい文化センター	平成11年から	創作者寄贈
A19	東義次遺髪碑	西町7番(稲荷神社)	大正8年	東 武氏
A20	東武開拓頌徳碑	西町7番(稲荷神社)	昭和12年9月	地域住民
A21	宇佐美常次郎翁の像	深川西高等学校	昭和59年11月23日 現在地に建立替	開校50年校舎改築落成記念事業協賛会
A22	顕彰遺蜀	菊水コミュニティセンター	大正8年9月	
A23	閉校記念碑	菊水コミュニティセンター	平成5年2月28日	閉校記念協賛会
A24	菊亭候碑	メム神社境内	明治40年10月	百戸団体関係者
A25	大和十津川百戸団体開拓記念碑	メム神社境内	明治42年6月	関係24名
A26	動脈	メム6号川5線(向陽橋付近)	昭和56年10月	深川市
A27	人の松	メム4号山2線(4号線沿)	大正12年9月	中井哲太郎氏

一已地区

No.	名 称	所 在 地	建 立 年 月 日	設 置 者 又 は 管 理 者
B01	躍動	総合運動公園	平成9年10月	深川市
B02	深川ロータリクラブ創立十五周年記念	総合運動公園	昭和49年5月12日	深川ロータリクラブ
B03	深川土功組合記念碑	一已町水源(水源神社内)	大正11年	深川土功組合
B04	招魂碑	一已町水源(水源神社内)	昭和13年9月17日	深川土功組合
B05	利水	一已町水源(大正緑道)	昭和39年3月	深川土地改良区

No.	名 称	所 在 地	建 立 年 月 日	設 置 者 又 は 管 理 者
B06	源流	一已町水源（大正緑道）	昭和 62 年 6 月 30 日	深川土地改良区
B07	二宮尊徳像	旧入志別小学校敷地内	昭和 13 年 6 月 4 日	渋谷東七氏寄贈
B08	入志別小学校跡	旧入志別小学校敷地内	平成 7 年 2 月 26 日	閉校記念協賛会
B09	犬魂碑	深川保健所	昭和 39 年 6 月 1 日	深川保健所
B10	深川市・アボツフォード市姉妹都市提携記念	市役所前庭	平成 10 年 9 月 14 日	深川市
B11	深川市民 5 つの誓い	市役所前庭	昭和 48 年 8 月 10 日	深川市
B12	大地の恵み	市役所前庭	平成 14 年 11 月 12 日	深川市
B13	水稻発祥之地	稲穂町 1 丁目 6 番	昭和 40 年 5 月 15 日	イチヤン農協
B14	飛躍	一已小学校	平成 7 年 10 月 21 日	開校百周年記念協賛会
B15	和	一已中学校	昭和 38 年 10 月	教育委員会
B16	開村記念碑	昇保会館	明治 29 年 4 月	昇保町内会
B17	彰徳碑	旧丸山保育園（丸山寺前駐車場）	大正 8 年 4 月	一已屯田戸主
B18	開基五十年記念碑	一已町 8 丁目 3 番通	昭和 32 年 6 月	
B19	監的壕	一已町 8 丁目 3 番通	平成 11 年 9 月 1 日	東原俊郎氏寄贈
B20	北原白秋の碑	丸山公園	昭和 48 年 8 月	丸山観光協会
B21	丸山観光協会創立五十年記念	丸山公園	平成 24 年	丸山観光協会
B22	一已回顧	丸山公園	昭和 47 年 7 月	旧一已小学校教へ子一同

No.	名 称	所 在 地	建立年月日	設置者又は管理者
B23	ますお沼記念碑	丸山公園	昭和 45 年 9 月	記念碑建立推進委員会
B24	烏魂碑	一般廃棄物処分場構内	昭和 61 年 11 月	深川市
B25	頭取有明多蔵相撲記念碑	大国神社境内	大正 7 年	
B26	忠魂碑	大国神社境内	昭和 9 年 6 月	
B27	開拓記念碑	大国神社境内	大正 13 年 5 月 15 日	建設委員 為岡利三郎他 13 名
B28	在郷軍人分会旗奉焼之地	大国神社境内	昭和 49 年 9 月 3 日	一已忠魂奉賛会
B29	明治三十七・八年日露戦没記念碑	大国神社境内	明治 40 年 9 月	
B30	一已屯田入植百年記念碑	大国神社境内	平成 6 年 9 月 6 日	一已屯田入植百年記念事業委員会
B31	獣魂碑	大国神社境内	昭和 60 年 8 月	建設委員会
B32	開拓之馬像	大国神社境内	昭和 54 年 9 月	
B33	戦没者顕彰之碑	大国神社境内	昭和 55 年 11 月	一已忠魂碑補修委員会
B34	一已 4 H クラブ 創立 30 周年記念	深川農村公園	昭和 54 年 9 月 5 日	一已 4 H クラブ
B35	屯田歩兵第一大隊本部之地	教円寺境内	昭和 29 年 5 月 15 日	一已村開基 60 周年記念執行委員会
B36	卒業記念碑	北新小学校		第 50 回卒業生
B37	拓魂の像	あけぼの町拓魂広場	昭和 44 年 5 月 11 日	雨竜屯田二世会連絡協議会
B38	元屯田兵千名の氏名碑	あけぼの町拓魂広場		雨竜屯田会連絡協議会
B39	閑院宮載仁親王殿下御巡視記念碑	あけぼの町拓魂広場	明治 34 年 8 月 30 日	

No.	名 称	所 在 地	建立年月日	設置者又は管理者
B40	一已村道路元標	あけぼの町拓魂広場	昭和9年	
B41	開拓の鐘	あけぼの町拓魂広場	昭和59年6月21日	雨竜屯田会連絡協議会
B42	屯田歩兵第一大隊練兵場跡	あけぼの町拓魂広場	平成6年9月	一已屯田会

納内地区

No.	名 称	所 在 地	建立年月日	設置者又は管理者
C01	記念碑（北出頌徳碑）	芙蓉団地東側	昭和16年8月17日	
C02	基盤整備之碑	神竜土地改良区	昭和51年9月	神竜土地改良区
C03	明治三十七・八年役出征記念碑	納内神社境内	明治39年5月	
C04	忠魂碑	納内神社境内	大正11年5月再建	屯田兵及び村有志
C05	頌徳碑	納内神社境内	昭和31年9月	総務課
C06	開村記念碑	納内神社境内	昭和3年9月	納内村
C07	納内神社創祀百年記念碑	納内神社境内	平成9年8月	納内神社創祀百年記念事業奉賛会
C08	屯田歩兵第1大隊第5中隊本部跡	開拓記念公園	昭和53年5月15日再建立	納内北拓同志会
C09	納内町開拓百年記念事業芳名碑	開拓記念公園	平成6年7月9日	納内町開拓百年記念事業委員会
C10	納内町開拓百年記念碑	開拓記念公園	平成6年7月9日	納内町開拓百年記念事業委員会
C11	納内屯田兵芳名碑	開拓記念公園	平成12年11月	納内町開拓屯田会
C12	馬頭観世音菩薩	開拓記念公園	昭和16年	松原作次郎氏
C13	りんご之碑	開拓記念公園	昭和33年8月8日	納内果樹組合

No.	名 称	所 在 地	建立年月日	設置者又は管理者
C14	屯田の鐘	開拓記念公園		納内町開拓屯田会
C15	二宮尊徳像	納内小学校	昭和 29 年 5 月	深沢吉平氏寄贈
C16	未来を創る	納内小学校	平成 7 年 9 月 1 日	開校百周年記念事業推進実行委員会

音江地区

No.	名 称	所 在 地	建立年月日	設置者又は管理者
D01	自作農創設記念碑	音江町更進 10 町内	昭和 15 年 5 月 30 日	更進 10 町内
D02	英霊合祀塔	音江町更進 延命寺	昭和 31 年 9 月 15 日	英霊合祀塔建立委員会
D03	明治天皇尊碑	音江町更進 浄信寺	大正 4 年	
D04	閉校記念碑	菊丘コミュニティセンター	平成 4 年 3 月	閉校記念協賛会
D05	内大部教育発祥の地	旧吉住教員住宅横	昭和 58 年 9 月 9 日	吉住小学校 PTA 会
D06	閉校記念碑	更進・吉住コミュニティセンター	平成 4 年 2 月 23 日	創立 86 周年閉校記念協賛会
D07	開拓記念碑	音江町吉住（旧吉野神社境内）	昭和 27 年 6 月 17 日	発起人 4 名
D08	利水	音江町内園	昭和 39 年 11 月 11 日	発起人 5 名、受益者 43 名
D09	用水路開発記念碑	音江町内園	昭和 33 年 10 月	関係住民
D10	「交通安全を祈る」観音像	音江町国見	昭和 38 年 5 月	深川地区交通安全協会連合会及び音江村長藤谷軍一
D11	交通安全地藏	音江町国見	昭和 54 年 11 月	東海運輸株式会社
D12	鬼川俊蔵歌碑	国見峠展望台	昭和 17 年 平成 6 年移設	生涯学習スポーツ課
D13	忠魂碑	音江神社境内	大正 9 年 6 月	音江村在郷軍人分会

No.	名 称	所 在 地	建 立 年 月 日	設 置 者 又 は 管 理 者
D14	開校七十周年 記念の 森「桜花爛漫」	深川西高同窓会林内	平成 20 年 10 月 19 日	深川西高同窓会
D15	スポーツセンター用地 造成記念	音江町音江	昭和 46 年 10 月	深川市
D16	鈴木雨亭の碑	青年の家構内	昭和 43 年 10 月 26 日	雪垣吟社一同
D17	青年の像（飛翔）	青年の家構内	昭和 42 年 9 月 1 日	北海道青年団体協 議会
D18	青年の庭	青年の家構内	昭和 42 年	深川市
D19	深沢吉平先祖の像	きたそらち農協音江 金融事務所内	昭和 35 年 11 月 3 日	きたそらち農協
D20	頭取吉の音大峠倉太の 碑	音江墓地内	昭和 9 年 8 月 15 日	
D21	沖里河尋常高等小学校 跡	豊泉コミュニティセ ンター		向陽小学校 50 周年 記念協賛会
D22	史跡音江の環状列石	音江町向陽	昭和 32 年 11 月 3 日	生涯学習スポーツ 課
D23	北海道文化財百選 音 江の環状石籬	音江町向陽 環状列石 付近	昭和 32 年 10 月	北海タイムス社
D24	閉校記念碑	向陽館	平成 5 年 2 月 21 日	閉校記念協賛会
D25	深川市立向陽中学校跡	向陽館		向陽小学校五十周 年記念協賛会
D26	創農之碑	音江町向陽（稻荷神 社境内）	昭和 39 年 8 月 27 日	宝利新一氏 外 5 名
D27	須麻馬内尋常高等小学 校跡	音江町稲田	昭和 61 年 8 月 24 日	向陽小学校 50 周年 記念協賛会
D28	須麻馬内土功組合記念 碑	稲田ダム駐車場	昭和 14 年 5 月	須麻馬内土功組合
D29	圃場整備之碑	稲田コミュニティセ ンター	昭和 54 年 9 月 21 日	稲田地区道営圃場 整備事業促進期成 会
D30	経営体育成基盤整備事 業竣工記念碑	稲田コミュニティセ ンター	平成 18 年 3 月 27 日	稲田向陽地区担い 手育成基盤整備事 業促進期成会

No.	名 称	所 在 地	建 立 年 月 日	設 置 者 又 は 管 理 者
D31	杉本翁之碑	音江町稲田	昭和 30 年 6 月	受益者 前田岩太他 36 名

多度志地区

No.	名 称	所 在 地	建 立 年 月 日	設 置 者 又 は 管 理 者
E01	雨竜川総合開発記念碑	鷹泊自然公園	昭和 41 年 9 月 15 日	関係土地改良区
E02	協栄橋架橋記念碑	鷹泊（ヌップ）	昭和 48 年 11 月	地区住民一同
E03	二宮尊徳像	リフレッシュプラザ 鷹泊	昭和 37 年 10 月	柴田正雄氏他 2 名 寄贈
E04	閉校記念碑	幌成コミュニティセ ンター	平成 9 年 2 月 23 日	幌成小学校閉校記 念協賛会
E05	閉校記念碑	宇摩会館	平成 12 年 11 月	宇摩小学校同窓生 一同
E06	開田記念碑	宇摩会館	昭和 39 年 9 月 5 日	多度志土地改良区 支線上宇摩組合
E07	開拓記念碑	宇摩神社境内	昭和 9 年 4 月	
E08	故真鍋家墓碑	宇摩神社境内	昭和 26 年 9 月 6 日	部落一同
E09	剛雄日新 不撓不屈	旧多度志中学校	平成 4 年 8 月 30 日	記念事業協賛会
E10	開拓記念碑	湯内神社境内	大正 14 年 9 月 18 日	
E11	湯内教育発祥の地	中央公民館 湯内分館	昭和 54 年 6 月	湯内教育振興会・ 湯内同窓会
E12	若林部落開拓記念碑	多度志町若林	大正 13 年 9 月	発起者 若林青年会 員八熊多市他 30 名
E13	開拓記念碑	多度志診療所	大正 14 年 9 月	建設発起人 南藤吉 他 12 名
E14	忠霊塔	多度志神社境内	昭和 31 年 8 月	忠霊塔奉賛会
E15	南無阿弥陀佛	多度志神社境内	大正 12 年 8 月 10 日	運搬業一同

No.	名 称	所 在 地	建 立 年 月 日	設 置 者 又 は 管 理 者
E16	銅像水谷隆毅翁之像	旧多度志支所	昭和 55 年 9 月 15 日	多度志町水谷隆毅翁顕彰期成会
E17	圃場整備記念	旧多度志支所	昭和 50 年 9 月 11 日	多度志土地改良区
E18	故笠原元次郎の碑	旧多度志支所	昭和 10 年 5 月	多度志村有志一同
E19	開基記念	旧多度志支所	昭和 40 年 9 月	多度志町
E20	宮本農場開放記念	旧多度志支所	昭和 13 年 6 月 15 日	伊藤重太郎氏外 5 名
E21	故南藤吉之碑	多度志町多度志		

A 0 1 纪念碑



所在地 花園公園
建立年月日 大正6年5月
建立者 ー
管理者 ー
建立の由来等
不明

A 0 2 宇佐美常次郎翁の像



所在地 深川東高等学校
建立年月日 昭和28年8月25日
建立者 深川町
管理者 ー
建立の由来等

宇佐美常治郎翁は三重縣に生れ明治28年24歳の時兄米三郎氏屯田兵入隊の際伴われて納内村に移住大正9年深川に轉住製材並に土木請負業を営み家運益々隆昌大成豪商となる翁夙に敬神尊崇の念に當公共心驚く幾多の町公職を歴任し又翁の素懐たりし深川外十町村組合病院同高等女学校同中学校等の建築は翁の獨行寄附であり其他公共事業に貢献せられし数枚挙に遑あらず斯如く町に盡瘁せる功績甚大なるは洵に敬仰欽慕惜能わざる処なり本年茲に60週年を記念するに當り胸像を安置し翁乃偉大なる遺徳を偲び報思感謝の微衷を表し美徳を録して後昆に傳ふ。

A 0 3 青年の像



所在地 深川東高等学校
建立年月日 昭和42年
建立者 福井尚敏氏
管理者 ー
建立の由来等

深川駅前広場に建立されたが、駅前広場造園にかかり東高等学校の敷地内に移設された。



A 0 4 宇佐美常次郎翁の像



所在地 深川市立病院内
建立年月日 昭和16年10月
建立者 頌徳記念会
管理者 深川市立病院
建立の由来等

宇佐美常治郎氏ハ明治28年5月年齢僅カ24歳兄米三郎氏屯田兵入隊ノ際伴ハレテ雨龍郡納内村ニ移住(中略)大正9年6月深川ニ轉住シ製材業土木請負業ヲ営ミテ家運益々反映シ社会奉仕慈善事業ニ盡瘁シ又各種公職ノ重任ヲ果タシ氏ノ素懐タリシ深川外十箇村組合病院、深川高等女学校、深川中学校等の建築費ヲは翁の獨行寄附シ其ノ他公共事業ニ貢献セラレシモノ枚挙ニ遑アラズ常ニ至誠一貫タル功績ノ顯著甚大ナツハ洵ニ敬仰欽慕惜能ハサル処ナリ茲ニ関係町村民胥謀リ頌徳記念会ヲ組織シテ胸像ヲ建設シ切ニ氏ノ遺徳高風ヲ偲ビ報思感謝ノ微衷ヲ表シ暫テ永久ニ箋レサシンコトヲ期シ其ノ梗築ヲ録シ以テ之ヲ後昆ニ傳フルモノトス

A 0 5 深川町開拓五十年之碑



所在地 深川神社境内
建立年月日 昭和17年
建立者 深川町
管理者 総務課
建立の由来等
深川村開拓50周年を記念して建立。

A 0 6 忠魂碑



所在地 深川神社境内
建立年月日 明治43年9月4日
建立者 深川地区遺族会
管理者 ー
建立の由来等

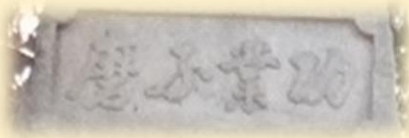
此れの忠魂碑は明治43年9月4日陸軍中将上原勇作閣下の揮毫により深川村が日清日露の戦で戦死された英霊を祀った爾来大東亜の戦まで127柱の英霊を祀る。

A 0 7 功業不磨



所在地 深川神社境内
建立年月日 昭和16年10月
建立者 頌徳記念会
管理者 ー
建立の由来等

宇佐美常治郎は深川外10ヵ村組合病院、深川高等女学校（現深川東高）深川中学校（現深川西高）を建築して寄付したほか、公共事業へ貢献した功績を讃えるため関係町村民胥謀り頌徳記念会を組織して頌徳碑を建設した。



A 0 8 創立 消防組記念碑



所在地 深川神社境内
建立年月日 大正2年5月10日
建立者 深川消防組員一同
管理者 深川消防署
建立の由来等

深川消防の前身である私設消防組が明治32年10月組員35名をもって設置される。

明治34年11月18日公設認可により深川消防組と改称される。

大正2年5月10日公設消防組の創設を記念して組員一同によりこの記念碑を建立する。

A 0 9 頭取 瀬川富次郎記念碑



所在地 深川神社境内
建立年月日 大正 12 年 2 月
建立者 ー
管理者 ー
建立の由来等

草相撲頭取の碑で社会的背景が変わった今では理解できないが頭取が占めていた社会的な立場を表したもの。

A 1 0 畜魂碑



所在地 深川神社境内
建立年月日 昭和 54 年 6 月 1 日
建立者 深川町家畜振興協会ほか
管理者 ー
建立の由来等

メムの地に、水稻と共にある畜産は、それ等の生命の代償によって成る。
深く異例の誠を捧げ養畜の豊かにして平安な神佑を祈願して、この碑を建立する。

A 1 1 針塚



所在地 深川神社境内
建立年月日 昭和59年6月2日
建立者 ー
管理者 ー
建立の由来等

私達は生の瞬間より死の終りに至るまで、針の恩恵無くしては、一日たりと雖も、生活することは出来ない。

針供養は針を扱う者、針を職業にする人の針に対する感謝の心であり、今なお日本の伝統となっています。

針の恩恵に感謝し、合せて一本の折れた針と雖も、粗末にする事なく、怪我過まちなりの無い様に心掛け婦徳の涵養につとめるべく、ここに針塚の建立をいたしました。

A 1 2 神馬功德



所在地 深川神社境内
建立年月日 平成4年10月
建立者 神馬之像建立期成会
管理者 ー
建立の由来等
不明

A 1 3 獣魂碑



所在地 グリーンパーク21

建立年月日 昭和6年9月

建立者 代表 上中富一氏

管理者 ー

建立の由来等

獣畜の靈魂を慰靈するため建立。

A 1 4 新しい風



所在地 深川小学校

建立年月日 平成8年10月19日

建立者 開校百周年記念協賛会

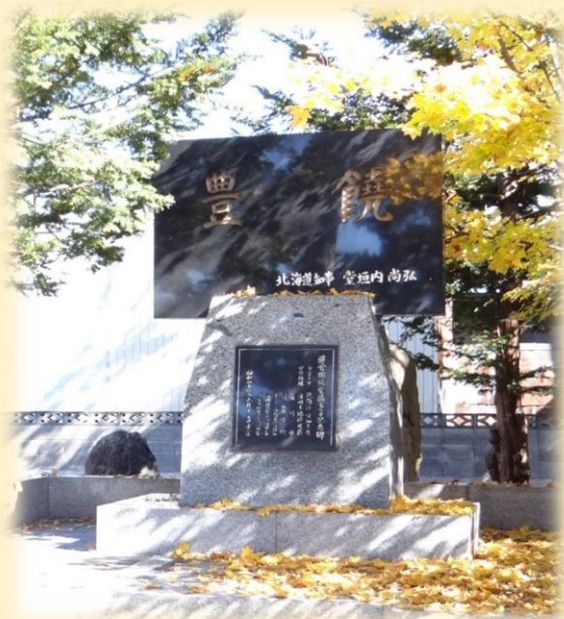
管理者 教育委員会

建立の由来等

深川小学校開校百周年を記念し、協賛会から寄贈されたもの。

制作者は、福井尚敏氏

A 1 5 道営圃場整備事業記念碑



所在地 深川土地改良区
建立年月日 昭和48年9月15日
建立者 受益6団体
管理者 深川土地改良区
建立の由来等

本地域は大正5年造田事業に着手以来60年に亘り、先輩諸士の苦心の下に、水稻栽培の優位地区を確立したのである。

昭和38年農業の近代化経営の合理化を計るため、道営圃場整備事業が企画されたので、これに呼応して地域3,800町歩の住民全員の参加を得て、道に申請しその採択を得て事業を開始し、尔来10か年の歳月を経て基盤整備事業が完了し、今や一望の美田が指呼の間に眺めるに至ったのである。

本事業完成に至る間、関係諸官庁及び工事施行に当り関係業者並びに受益関係者の協力に対し、深甚なる敬意と謝意を表する次第である。

A 1 6 100年の礎



所在地 深川土地改良区
建立年月日 平成21年8月28日
建立者 深川土地改良区
管理者 深川土地改良区
建立の由来等

深川土地改良区は、明治42年8月28日深川土功組合として設立され、ここに、100年の歩みが始まり、(中略)

本年創立100年を迎えるにあたり、先人の偉業を偲びその偉大な足跡を後世に永く伝えるため「100年の礎記念碑」を建立し、深川土地改良区悠久の発展を希うものである。

A 17 旭川工業'96



所在地 生きがい文化センター
 建立年月日 ー
 建立者 旭川工業高校同窓会北空知支部寄贈

管理者 ー

建立の由来等

旭川工業高校同窓会北空知支部 30周年記念として、ストーンベンチを寄贈。

A 18 詩歌の散歩道



所在地 生きがい文化センター 建立年月日 平成 11 年から
 建立者 創作者寄贈 管理者 生涯学習スポーツ課
 建立の由来等

詩歌の散歩道は、市民が気軽に文学に親しんでもらうことを目的として、平成 11 年度より生きがい文化センター裏庭に文学碑の散策路として整備し、市民のくつろぎの場、ふれあいの場となっているものです。

文学碑は市民や深川にゆかりのある方が作った俳句、川柳、詩などの作品を刻んだ石碑を創作者の負担により作成していただき、寄贈していただいているものです。(平成 22 年度末で 54 基設置)

A 1 9 東義次遺髪碑



所在地 西町7番(稲荷神社)
 建立年月日 大正8年
 建立者 東武氏
 管理者 関係町内会
 建立の由来等

大正8年に「東武」氏が父親「東義次」の広思に報いるため建立したものであります。



A 2 0 東先生開拓頌徳碑



所在地 西町7番(稲荷神社)
 建立年月日 昭和12年9月
 建立者 地域住民
 管理者 関係町内会
 建立の由来等

メム百戸団体の功労者であり、本市開拓の大きな功労と北海道開拓農民のよき代弁者であった「東武」氏の功績を称え昭和12年に地域住民が建立した。

A 2 1 宇佐美常次郎翁の像



所在地 深川西高等学校
 建立年月日 昭和59年11月23日に現在地に建立替
 建立者 開校50年校舎改築落成記念事業協賛会
 管理者 ー
 建立の由来等

宇佐美常次郎の功績は A02,A04,A07 に記載のとおりだが、本像は昭和59年11月23日に深川西高開校50年校舎改築落成記念事業協賛会により、現在地に再建立されたものである。

A 2 2 顕彰遺蜀



所在地 菊水コミュニティセンター
 建立年月日 大正8年9月
 建立者 ー
 管理者 ー
 建立の由来等

菊水小学校の創立25周年記念の顕彰碑。



A 2 3 閉校記念碑



所在地 菊水コミュニティセンター
 建立年月日 平成5年2月28日
 建立者 閉校記念協賛会
 管理者 教育委員会
 建立の由来等

創立98年の栄光を讃え閉校記念碑を建て後世に永く伝える。

A 2 4 菊亭候碑



所在地 メム神社境内
 建立年月日 明治40年10月
 建立者 ー
 管理者 百戸団体関係者
 建立の由来等

雨竜原野の開拓の祖になった菊亭修季の遺業を偲び百戸団体関係者が中心となり建立。



A 2 5 大和十津川百戸団体開拓記念碑



所在地 メム神社境内
 建立年月日 明治42年6月
 建立者 関係24名
 管理者 ー
 建立の由来等
 百戸団体の開拓を記念して建立。

A 2 6 動脈



所在地 メム6号川5線
 (向陽橋付近)
 建立年月日 昭和56年10月
 建立者 深川市
 管理者 都市建設課
 建立の由来等 (碑文抜粋)

深川市、妹背牛町、秩父別町の1市2町にわたるこの地域が将来とも稲作を基幹にした農業経営を営むため地域住民と行政が一体となって新しい広域農業圏を確立すべく基本構想を樹立し昭和49年に道営広域営農団地農道整備事業に着手その一環として一級河川石狩川に架設される向陽橋により地域を貫通する幹線農道を本道輸送の大動脈である国道12号に連結し輸送機能の著しい効果による生産性の向上と地域内住民の生活環境の向上を目指し事業の推進につとめここに各位のご尽力により完成を見るに至りました。

ここに向陽橋の竣工を記念し碑を建て永く後に伝える。

A 2 7 人の松



所在地 メム4号山2線
(4号線沿)
建立年月日 大正12年9月
建立者 中井哲太郎氏
管理者 共和町内会 (北菊水)
建立の由来等

明治43年7月クマに襲われて死んだ矢野春吉と更谷清似を追憶する碑で、開拓期の犠牲を追憶して中井哲太郎氏が建立した。

B01 躍動



所在地 総合運動公園
建立年月日 平成9年10月
建立者 深川市
管理者 教育委員会
建立の由来等

深川市のスポーツ都市宣言 30周年を記念して建立。

B02 深川ロータリクラブ創立十五周年記念



所在地 総合運動公園
建立年月日 昭和49年5月12日
建立者 深川ロータリクラブ
管理者 -
建立の由来等

深川ロータリクラブの創立 15周年を記念して建立。

B 0 3 深川土功組合記念碑



所在地 一已町水源（水源神社内）
建立年月日 大正 11 年
建立者 深川土功組合
管理者 深川土地改良区
建立の由来等

本記念碑は大正 11 年に深川土功組合かんがい施設創設事業として、当時の事業費 69 万 5,914 円で竣工したことを記念し、建立したものでありますが、この度、北空知地区直轄かんがい排水事業深川取水工改修工事に支障となり、同事業の補償工事として移設再建立し、更に基礎石垣素材に大正用水路石材を後年の記念として使用したものであります。（昭和 62 年現在地に移設）

B 0 4 招魂碑



所在地 一已町水源（水源神社内）
建立年月日 昭和 13 年 9 月 17 日
建立者 深川土功組合
管理者 深川土地改良区
建立の由来等

大正 5 年 9 月給水面積 5,000ha を予定した深川土功組合かんがい溝工事の尊い犠牲となった人を祀った。

B05 利水



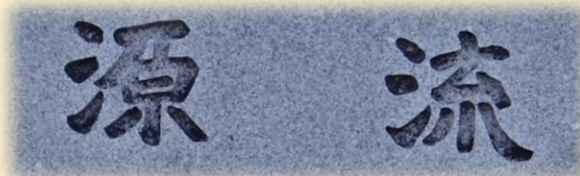
所在地 一已町水源（大正緑道）
建立年月日 昭和39年3月
建立者 深川土地改良区
管理者 深川土地改良区
建立の由来等

本記念碑は、昭和39年3月道営災害復旧事業により旧来の鉄線蛇籠鞍掛堰堤より、高度のコンクリート堰堤工法で築造された頭首工の記念として、建立されたものであります。（中略）

この度国営事業北空知地区で北空知頭首工、用水路改修工事により、その役目が終り花園頭首工が取り壊されることになりました。

利水神として永年風雪に耐えた記念碑を北海道開発局の御高配により残すべく当地に移設したものであります。（平成9年移設）

B06 源流



所在地 一已町水源（大正緑道）
建立年月日 昭和62年6月30日
建立者 深川土地改良区
管理者 深川土地改良区
建立の由来等

北空知地区直轄かんがい排水事業深川取水工工事が本年3月に完成し、新しい取水工により通水を行ってまいります。顧みますと、旧取水工は大正5年に完成し以来七十余年に亘る通水を行い、今日北海道有数の稲作基地をみるたびに、旧取水工取り壊しに対し哀歓を感じるものであります。

この度、深川取水工工事を担当されました深川農業開発事業所並びに施工にあられた事業者に私の気持ちを申し上げたところ、心よく御賛同いただき旧取入口の門柱及び隧道の一部を残していただいたのであります。

この御好意を基にして先人の御苦勞に敬意と感謝の意をこめ、併せて後年、組合員に記念として本記念碑を建立した次第であります。

B07 二宮尊徳像



所在地 旧入志別小学校敷地内
建立年月日 昭和13年6月4日
建立者 渋谷東七氏寄贈
管理者 ー
建立の由来等

入志別小学校第一回卒業生である渋谷東七氏が建設し寄贈されたもの。

B08 入志別小学校跡



所在地 旧入志別小学校敷地内
建立年月日 平成7年2月26日
建立者 閉校記念協賛会
管理者 ー
建立の由来等

創立89年の栄光を称え閉校記念碑を建て後世に永く伝える。

B09 犬魂碑



所在地 深川保健所
建立年月日 昭和39年6月1日
建立者 —
管理者 深川保健所
建立の由来等

殺処分した捕獲犬、不用犬の慰霊のため鎮魂慰霊の意を表しこれを祀っている。

保健所移転に伴い現在地に移設。

B10 深川市・アボツフォード市姉妹都市提携記念



所在地 市役所前庭
建立年月日 平成10年9月14日
建立者 深川市
管理者 企画財政課
建立の由来等

深川市とアボツフォード市は、友好・親善を深め、相互の地域性を理解し、文化・教育・経済各分野の交流が効果的かつ継続的に推進されることを念願し姉妹都市提携を行う。

B 1 1 深川市民5つの誓い



所在地 市役所前庭
建立年月日 昭和48年8月10日
建立者 深川市
管理者 総務課
建立の由来等
深川市開基80周年市制10周年記念として建立。

B 1 2 大地の恵み



所在地 市役所前庭
建立年月日 平成14年11月12日
建立者 深川市
管理者 総務課
建立の由来等
深川市開基110周年市制施行40周年記念として建立。
制作者は福井尚敏氏

B 1 3 水稻癸祥之地



所在地 稲穂町1丁目6番
建立年月日 昭和40年5月15日
建立者 屯田二世会
管理者 ー
建立の由来等

元屯田兵伊藤兼太郎氏が明治29年此地に於て水稻栽培に成功し明治天皇にこれを献上依て其の功績を多とされ銀盃一個を下賜せられたり。

B 1 4 飛躍



所在地 一已小学校
建立年月日 平成7年10月21日
建立者 開校百周年記念協賛会
管理者 教育委員会
建立の由来等

開校100周年の栄光を讃え未来への限りない創造を願いつつ、モニュメントを「飛躍」としました。

B 1 5 和



所在地	一巳中学校
建立年月日	昭和38年10月
建立者	寄贈
管理者	教育委員会
建立の由来等	不明

B 1 6 開村記念碑



所在地	昇保会館
建立年月日	明治29年4月
建立者	—
管理者	昇保町内会
建立の由来等	団体を組んで入植し共に土と戦った人々が建てたもので、市内最古の石碑である。

B 1 7 彰徳碑



所在地 旧丸山保育園
(丸山寺前駐車場)
建立年月日 大正8年4月
建立者 一已屯田戸主
管理者 ー
建立の由来等

一已村開拓の初めから多くの出産児を取り上げた産婆水口イト「記念彰徳碑」がある。現在とは異なり恵まれない出産環境だったため、産婦ばかりではなく家族のすべてが産婆の処置に期待をしていたとみられる。また水口イトもその期待に応える心の師であり未来を託する健やかな子どもの安産を願っていたのであろう。

B 1 8 開基五十年記念碑



所在地 一已町8丁目3番通
建立年月日 昭和32年6月
建立者 ー
管理者 ー
建立の由来等

一已村開基50年の際に建立されたものと思われる。

B 1 9 監的壕



所在地 一已町8丁目3番通
建立年月日 平成11年9月1日
建立者 東原俊郎氏寄贈
管理者 ー
建立の由来等

現在の監的壕を建設した時の建設委員長が建立者の祖父であったこと、この壕が今後市民に親しまれ、半永久的に深川の歴史を伝えるものになってほしいとの趣旨から、今まで監的壕の内容等を記していた看板を石碑にして寄贈したもの。

B 2 0 北原白秋の碑



所在地 丸山公園
建立年月日 昭和48年8月
建立者 丸山観光協会
管理者 丸山観光協会
建立の由来等

大正14年夏白秋深川を訪れ屯田開拓の偉業を偲んで此の歌を作る。

深川市開基80年市制10年記念協賛。

B 2 1 丸山観光協会創立五十周年記念



所在地 丸山公園
建立年月日 平成24年
建立者 丸山観光協会
管理者 丸山観光協会
建立の由来等

丸山観光協会創立50周年事業の一環として碑を建立。

B 2 2 一已回顧



所在地 丸山公園
建立年月日 昭和47年7月
建立者 旧一已小学校教へ子
一同

管理者 丸山観光協会
建立の由来等 (句碑由来要約)

柴山与平先生は子弟教育の信条として一貫して報徳精神を以ってし、昭和49年7月教へ子の会の総意により先生快心の作「一已回顧」を句碑として贈り札幌市の柴山邸の一角に建立しました。

先生ご夫妻他界後、この句碑を一已に移設することが最良であると建立者が考え、ご遺族の賛成を得ました。

種々検討の結果、丸山公園が移設先として適地と考え、丸山観光協会の協力を経て昭和61年10月移設を完了致しました。

B 2 3 ますお沼記念碑



所在地 丸山公園
建立年月日 昭和45年9月
建立者 記念碑建立推進委員会
管理者 丸山観光協会
建立の由来等

故児見山増夫氏が元一巳村長或は道議会議員更には農民運動の先覚者として郷土の発展と福祉社会の建設に盡力今日の深川市の礎石をなしたる功労を顕彰し我等同志相計り據金により本碑を建立する。

又児見山毅氏東原直一氏古河建設株式会社を始め多くの人たちの善意により昭和44年沼の完成を見、ますお沼と呼称して、故人の遺徳と共に永く其の美挙を後世に残し傳えと欲するものがあります。

B 2 4 烏魂碑



所在地 一般廃棄物処分場構内
建立年月日 昭和61年11月
建立者 深川市
管理者 環境課
建立の由来等

廃棄物処分場で処分された烏の慰霊のため建立。鎮魂慰霊の意を表しこれを祀っている。

三上石材工業所より寄贈

B 2 5 頭取有明多蔵相撲記念碑



所在地 大国神社境内

建立年月日 大正7年

建立者 ー

管理者 ー

建立の由来等

草相撲頭取の碑で社会的背景が変わった今では理解できないが頭取が占めていた社会的な立場を表したものの。

B 2 6 忠魂碑



所在地 大国神社境内

建立年月日 昭和9年6月

建立者 ー

管理者 ー

建立の由来等

明治39年日露戦争戦死者の御魂を祭るため大国神社に木桂の忠魂碑を建立し、大正7年桑島伴伍第分会長時代に屯田兵第3中隊第4中隊の有志により石桂の忠魂碑を現在の分会旗奉焼碑の場所に建立した。昭和9年同北一已南一已の共有財産処分が行われ村内各団体にこれを分配された。在郷軍人会は其の分配金にて忠魂碑を建立し永久に残そうとの議があり、当時分会長の坂井弘作氏以下分会員の労力奉仕を以て原石を音江町に求め此れ搬出、現在地に建立した。

B 2 7 開拓記念碑



所在地 大国神社境内
 建立年月日 大正13年5月15日
 建立者 建設委員 為岡利三郎
 他13名
 管理者 ー
 建立の由来等
 一已村開拓記念碑。

B 2 8 在郷軍人分会旗奉焼之地



所在地 大国神社境内
 建立年月日 昭和49年9月3日
 建立者 ー
 管理者 一已忠魂奉賛会
 建立の由来等
 不明

B 2 9 明治三十七・八年日露戦役記念碑



所在地 大国神社境内
建立年月日 明治40年9月
建立者 —
管理者 —
建立の由来等

明治37年8月6日に第7師団に動員令が下り、旧兵村では殆どの人が従軍した。

この戦没を偲んで建立された。

B 3 0 一己屯田入植百年記念碑



所在地 大国神社境内
建立年月日 平成6年9月6日
建立者 一己屯田入植百年記念事業委員会
管理者 —
建立の由来等

一己の地に屯田兵が入植し、百年の時を経たことを記念して建立。

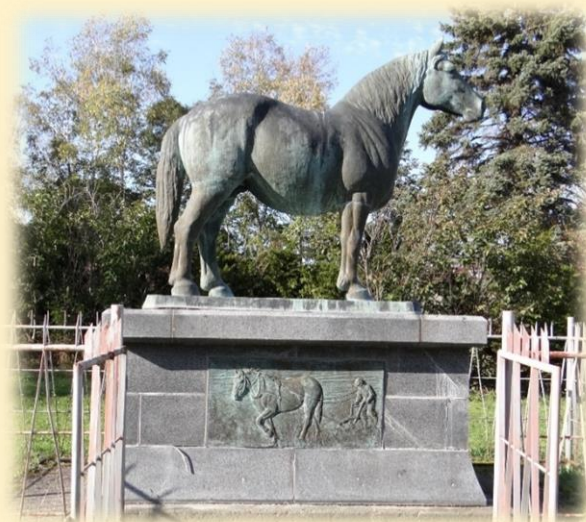
B 3 1 獣魂碑



所在地 大国神社境内
建立年月日 昭和60年8月
建立者 建設委員会
管理者 ー
建立の由来等

獣畜の靈魂を慰霊するため碑を建立。

B 3 2 開拓之馬像



所在地 大国神社境内
建立年月日 昭和54年9月
建立者 ー
管理者 ー
建立の由来等

一已地区は屯田兵のたくましい開拓魂と、どさんこ馬の声なき労苦の結晶により拓かれ、今日の美田沃野が形成された。しかし、戦後の著しい技術革新は、農業においても農業機械が急速に普及し、役馬の時代に終止符が打たれた。馬は農作業ばかりでなく、他の労役にも欠かせぬ存在として、長い間人類に貢献した功績は極めて大きい。ここにその偉業を後世に遺すべく、農耕馬の代表的小格鞍馬「日本釧路種」の馬像を建立したものである。

B 3 3 戦没者顕彰之碑



所在地 大國神社境内
建立年月日 昭和55年11月
建立者 一已忠魂碑補修委員会
管理者 -
建立の由来等
忠魂碑の台座部分の補修工事に併せて戦没者顕彰之碑を建立した。

B 3 4 一已4Hクラブ創立30周年記念



所在地 深川農村公園
建立年月日 昭和54年9月5日
建立者 一已4Hクラブ
管理者 -
建立の由来等
一已4Hクラブは戦後の荒廃した農村にあり、農業改良普及事業の一環として、新しい村造りの推進者となる青少年の育成と指導のもとで、昭和24年2月に真に農村を愛し情熱を燃やされた数名の同志が農村の混迷する世相を憂い、その名を4Hクラブとして産声を上げたのが始まりで、以来あらゆる苦難と障害を克服し、今日の輝く活動の基盤を築き、本年で30年の年輪を刻むに至ったのである。

B 3 5 屯田歩兵第一大隊本部之地



所在地 教円寺境内
 建立年月日 昭和29年5月15日
 建立者 一已村開基60周年記念執行委員会
 管理者 生涯学習スポーツ課
 建立の由来等

明治7年10月30日に北方警備、本道拓殖などを目的として屯田兵条例が制定され屯田兵制度が発足した。明治28年5月及び明治29年4月の両年に各府県から募集した屯田兵1000戸で第一大隊を編成し、その内第1・2中隊400戸は「チクシベツ」（秩父別）に第3・4中隊400戸は「イチヤン」（一已）に第5中隊200戸は「オサンナケツ」（納内）に移住し北辺の警備と本道の開拓に任じた。

この記念碑は屯田兵の苦労を偲ぶとともに第一大隊本部の所在を後世に伝えるため、第一大隊本部所在跡地に、一已村開基60周年記念執行委員会が建立したものである。

B 3 6 卒業記念碑



所在地 北新小学校
 建立年月日 —
 建立者 第50回卒業生
 管理者 教育委員会
 建立の由来等

北新小学校第50回卒業生が卒業記念として、コンクリート製の記念碑を制作したもの。



B 3 7 拓魂の像



所在地 あけぼの町拓魂広場
 建立年月日 昭和44年5月11日
 建立者 雨竜屯田二世会連絡協議会

管理者 生涯学習スポーツ課
 建立の由来等

老樹鬱蒼として昼尚暗い雨竜の原野、北門警備の銃を担い、伐木開墾の斧打ち振う時に明治28,9年 あゝさんたり、我等の父祖は屯田兵1,000名とその家族。

時恰北海道二世紀に向って飛翔する、記念すべき年にあたり、こゝゆかりの地、雨竜屯田第一大隊練兵場趾の一角に、屯田兵開拓の像「拓魂」を建立し先人が遺された不滅の鴻業に対し敬虔なる感謝の誠を捧げる。

制作者は竹中敏洋氏

B 3 8 元屯田兵千名の名簿碑



所在地 あけぼの町拓魂広場
 建立年月日 —
 建立者 雨竜屯田会連絡協議会
 管理者 生涯学習スポーツ課
 建立の由来等

雨竜屯田歩兵第一大隊 明治28,9年
 入植者1,000名の名簿を記した碑。

B 3 9 閑院宮載仁親王殿下御巡視記念碑



所在地 あけぼの町拓魂広場
建立年月日 明治34年8月30日
建立者 ー
管理者 深川市
建立の由来等

一已屯田兵村が深川村に属していた時、雨竜大隊は模範兵村として聞こえが高く、兵員の意気が盛んだった。明治33年34年と閑院宮載仁親王殿下の兵村御巡視がありそのたびに賞詞を受けると兵村には感激の渦が広がっていた。当時の深川村には代々天皇に勤仕した誇りに包まれるメム百戸団体と屯田兵村優位の意識を持つ二つの侵しがたい動きがあったから閑院宮の兵村巡視ののち当時の一已尋常高等小学校（のちの深川農業高校）校舎敷地内に急ぎ建てられたもの。

深川農業高校の校舎改築に伴い、支障物件となったことから、昭和59年に現在地に移設したもの。

B 4 0 一已村道路元標



所在地 あけぼの町拓魂広場
建立年月日 昭和9年
建立者 北海道
管理者 深川市
建立の由来等

この元標は、旧一已村道路の起終点とするため、昭和9年、一番線と五丁目線の交点に設置されていたものを、昭和60年10月に現在地に移設したものです。

B 4 1 開拓の鐘



所在地 あけぼの町拓魂広場
建立年月日 昭和59年6月21日
建立者 雨竜屯田会連絡協議会
管理者 ー
建立の由来等

この鐘は、明治28年7月1日屯田歩兵第一大隊本部開設以来、明治35年3月31日解隊まで、本部位置にあって時点鐘として用いられ、屯田本部解体後は一已尋常高等小学校に移管され大正末期まで始業と終業の時のなつかしい思い出の鐘である。

昭和50年開校80年記念展示のあと屯田兵屋（現在地）に移された。

B 4 2 屯田歩兵第一大隊練兵場跡



所在地 あけぼの町拓魂広場
建立年月日 平成6年9月
建立者 一已屯田会
管理者 ー
建立の由来等

明治7年10月30日に北方警備、本道拓殖などを目的として屯田兵条例が制定され屯田兵制度が発足した。明治28年5月及び明治29年4月の両年に各府県から募集した屯田兵1000戸で第一大隊を編成し、その内第1・2中隊400戸は「チクシベツ」（秩父別）に第3・4中隊400戸は「イチヤン」（一已）に第5中隊200戸は「オサンナケツ」（納内）に移住し北辺の警備と本道の開拓に任じた。

この記念碑は屯田兵の苦労を偲ぶとともに第一大隊本部練兵場の所在を後世に伝えるため、一已屯田会が建立したものである。

C 0 1 記念碑（北出頌徳碑）



所在地 芙蓉団地東側
建立年月日 昭和 16 年 8 月 17 日
建立者 ー
管理者 ー
建立の由来等

昭和 14 年、馬産地納内の幼駒運動場用地が求められていた時、自らの所有地 3396 坪を進んで提供した北出ふよ、同繁太郎の徳を偲んで建てられた。

C 0 2 基盤整備之碑



所在地 神竜土地改良区
建立年月日 昭和 51 年 9 月
建立者 神竜土地改良区
管理者 神竜土地改良区
建立の由来等（建碑緒言抜粋）

昭和 40 年代に入り我が国の農業及びこれをめぐる諸情勢は著しい変化を生じ総合農政に於いても新たな展開等各種施策を図ることが要請され、この一環として農業生産基盤の整備拡充が、強力かつ計画的に推進することが緊要とされ当改良区は、道、団体営土地改良事業に依り用水路の装工整備をなし、更に機械化農業を進めるため不定形、小区画の圃場を 30 アール以上の大区画とし、農地の集団化により機械一貫作業体系を確立して、農業近代化と生産の向上を図らんとする目的をもって昭和 40 年より本事業に着手、関係各位の絶大なる協力を得、茲に整然たる美田と灌漑施設が完工したもので、この大事業を後世に伝えんとするものである。

C03 明治三十七・八年役出征記念碑



所在地	納内神社境内
建立年月日	明治39年5月
建立者	—
管理者	—
建立の由来等	不明

C04 忠魂碑



所在地	納内神社境内
建立年月日	大正11年5月再建
建立者	屯田兵及び村有志
管理者	—
建立の由来等	

日露戦役にて名誉の戦死を遂げた屯田兵8名、現役2名の英霊を祀って、明治40年8月神社鳥居西側に建立され、さらに大正11年5月、社殿の西側に移遷されたが、後年、日支事変大東亜戦争へと戦役が拡大されて行き、その犠牲となった英霊は逐年増加して、現在108柱の英霊が今日の平和を陰ながら喜んでいるものと思う。

納内神社創祀100年を期して、苔むして台座も不安定となりたるを以て平成9年8月この場所に移遷せしものなり。

C 0 5 頌徳碑



所在地 納内神社境内
建立年月日 昭和31年9月
建立者 納内村
管理者 総務課
建立の由来等

昭和30年7月12日納内村議会に於いて名誉村民の称号を贈るに当り納内村之を建つ。(明治29年屯田兵として納内に入植し、納内地域発展に功績を残した村上清孝が名誉村民の称号を与えられたのを記念して建てられた。)

C 0 6 開村記念碑



所在地 納内神社境内
建立年月日 昭和3年9月
建立者 納内村
管理者 総務課
建立の由来等
納内村の開村を記念して建立。

C 0 7 納内神社創祀百年記念碑



所在地 納内神社境内
建立年月日 平成9年8月
建立者 納内神社創祀百年記念事業奉賛会
管理者 納内神社
建立の由来等

明治28年同29年に入植した屯田兵をはじめとする人々の心の拠り所として明治31年尚武山の中腹に小神殿を建立し天照皇大神を奉斎するを創祀とする。

その後氏子の相互扶助の精神と敬神崇祖の顕われとが一致し明治35年秋現在地に遷宮せしものなり。

以来数度にわたる神殿の改修築累年の変遷と曲折を経てここに百年の星霜を重ねるところなり。

よって創祀百年に当たり氏子の浄財により記念の諸事業を実行しこの記念碑を建立して後世に創祀の意義を伝承せしむるとともに郷土の安寧と発展に永劫の加護あらんことを希求するものなり。

C 0 8 屯田歩兵第1大隊第5中隊本部跡

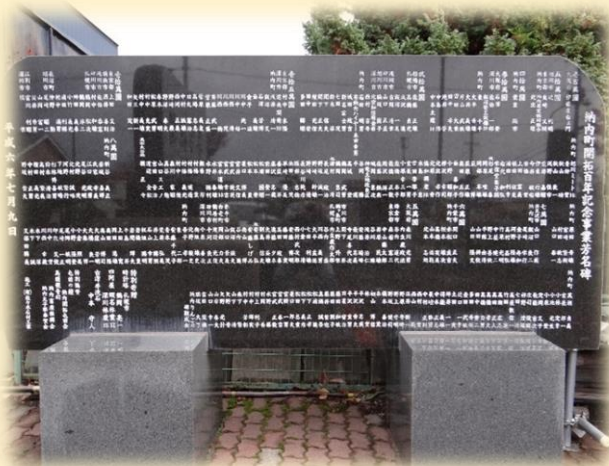


所在地 開拓記念公園
建立年月日 昭和53年5月15日再建立
建立者 納内北拓同志会
管理者 納内北拓同志会
建立の由来等

屯田歩兵第一大隊第五中隊200戸が明治28・29年に納内に移住し北辺の警備と開拓に任じた。その屯田開拓の偉業を偲んで第五中隊跡地にこの碑を建立したものである。

碑は昭和42年8月に、木製で建立されたが、老朽化が著しく納内開拓80周年事業の一環として現在の碑が建立された。

C 0 9 納内町開拓百年記念事業芳名碑



所在地 開拓記念公園
 建立年月日 平成6年7月9日
 建立者 納内町開拓百年記念事業委員会
 管理者 ー
 建立の由来等

納内町開拓百年記念事業の実施に当たり、寄付者や協賛者を記した碑。

C 1 0 納内町開拓百年記念碑



所在地 開拓記念公園
 建立年月日 平成6年7月9日
 建立者 納内町開拓百年記念事業委員会
 管理者 ー
 建立の由来等

納内町は明治二十八・九の兩年、屯田兵二百名とその家族が北方の警備と新天地開拓の大任を抱きこの地に入植して今日の納内がある。

老樹空を掩う昼なお暗い鬱蒼たる原始林を切り開き、血を覆う熊笹の根を掘り起こし、黒い大地に感動しながら開拓への情熱と愛郷の心を燃やし幾多の苦難に耐えて我が郷土を拓かれた。

兵農の務めを両全、開拓の実を挙げ納内町今日の礎を築いた先人の偉業を称えこれを受け継いだ人々の遺徳に深甚なる謝意を捧げ、ここに開拓百年を迎えるに当り町民と所縁の人々の願いを込めて、由緒ある屯田本部跡地に記念碑を建立し、培われてきた開拓魂と郷土愛の精神を後世に継承すると共に、ふる郷悠久の平和と繁栄を願って止まない。

題字は小川東洲氏書

C 1 1 納内屯田兵芳名碑



所在地 開拓記念公園
 建立年月日 平成 12 年 11 月
 建立者 納内町開拓屯田会
 管理者 —
 建立の由来等

この芳名碑は、納内在住屯田兵直系者及び納内町開拓屯田会役員その他賛同者のご協力により墾したものである。

C 1 2 馬頭観世音菩薩



所在地 開拓記念公園
 建立年月日 昭和 16 年
 建立者 松原作次郎氏
 管理者 畜産関係者
 建立の由来等

馬は農耕と人、物資の輸送に大きく貢献する納内に約 600 頭の馬が飼われた時期あり。馬の安全を祈願し、更に没した馬霊を供養するために、昭和 16 年、松原作次郎氏が寄進した。

祠は平成 6 年納内町開拓百年に際し百年事業委員会及び畜産関係者が寄進した。

C 1 3 りんご之碑



所在地 開拓記念公園
 建立年月日 昭和 33 年 8 月 8 日
 建立者 納内果樹組合
 管理者 納内果樹組合
 建立の由来等

納内りんごの発祥起源は明治 29 年に始まり、大正 12 年中川嘉一氏の驚異的努力と、りんご博士 島善鄰先生の献身的な指導により後年一大産業として栄えた。昭和 33 年りんごの碑を中川園の一角に建立され、爾来 35 年の間、心の寄り所としてりんご祭を開催し果樹振興の役割を果たしてきた。

納内開拓百年を迎えるに当り、この地に永く保存し次代の果樹生産者の意欲を昂め益々の繁栄を期する。(平成 5 年 8 月現在地に移設)

C 1 4 屯田の鐘



所在地 開拓記念公園
 建立年月日 ー
 建立者 納内町開拓屯田会寄贈
 管理者 ー
 建立の由来等

屯田兵入植時代、中隊本部に掲げられ、朝夕の合図、集合の号令などに鳴らされ、当時の生活に欠かせなかった鐘。

C 1 5 二宮尊徳像



所在地 納内小学校
 建立年月日 昭和 29 年 5 月
 建立者 深澤吉平氏寄贈
 管理者 教育委員会
 建立の由来等

旧内園小学校にあったが、学校統合により、統合先の納内小学校に移設された。

C 1 6 未来を創る



所在地 納内小学校
 建立年月日 平成 7 年 9 月 1 日
 建立者 開校百周年記念事業推進
 実行委員会
 管理者 教育委員会
 建立の由来等

平成 7 年、納内小学校は開校百周年を迎えました。先人の不撓不屈の精神とたくましい努力は伝統としてこの尊い血と汗の結晶であります。

ここに一世紀という節目を迎えるにあたり同窓生、PTA、所縁の人々の願いを込めて「未来を創る」大切な心の支え、時代への飛躍を期し、記念碑を建立しました。

題字は、小川東洲氏書

D01 自作農創設記念碑



所在地 音江町更進 10 町内会
建立年月日 昭和 15 年 5 月 30 日
建立者 ー
管理者 更進 10 町内会
建立の由来等

明治 23 年より音江町の更進一帯で農場を経営していた齊藤農場（農場主 齊藤弥太郎、管理人高橋伊彰）の自作農創設を求めて増田静八、大沢吉太郎、高橋尚吉・板吉等が代表となり永年に渡る交渉の結果昭和 14 年 11 月の時代の流れと農場主の理解のもと全地の開放を得ることができた。開放時の面積は田 81 町畑 12 町計 93 町小作戸数 34 であった。昭和 15 年この自作農創設を記念して道道沿いに記念碑が建立されたが、昭和 49 年一部補修をし、200m 程離れた現在の町内会館敷地に移設された。

D02 英霊合祀塔



所在地 音江町更進 延命寺
建立年月日 昭和 31 年 9 月 15 日
建立者 英霊合祀塔建立委員会
管理者 延命寺
建立の由来等

英霊合祀塔建立委員会建立。

明治 38 年より昭和 19 年までの戦没者を合祀す。

D03 明治天皇尊碑



所在地 音江町更進 浄信寺
 建立年月日 大正4年
 建立者 ー
 管理者 ー
 建立の由来等
 明治天皇の御遺徳を偲ぶため建てられた石碑。

D04 閉校記念碑



所在地 菊丘コミュニティセンター
 建立年月日 平成4年3月
 建立者 閉校記念協賛会
 管理者 教育委員会
 建立の由来等
 開校84年を以て閉校した菊丘小学校を記念し、碑を建立。

D05 内大部教育発祥の地



所在地 旧吉住教員住宅横
 建立年月日 昭和58年9月9日
 建立者 吉住小学校PTA会
 管理者 教育委員会
 建立の由来等

吉住小学校PTA会が、この地域の教育発祥の地を記す記念碑を建立。
 題字は、教育長 波多野 栄書

D06 閉校記念碑



所在地 更進・吉住コミュニティセンター
 建立年月日 平成4年2月23日
 建立者 創立86周年閉校記念協賛会
 管理者 教育委員会
 建立の由来等

吉住小学校閉校の際、記念として吉住小・中学校の校歌を記した碑を建立したものの。



D07 開拓記念碑



所在地 音江町吉住
(旧吉野神社境内)
 建立年月日 昭和27年6月17日
 建立者 発起人4名
 管理者 ー
 建立の由来等

大和国吉野郡大塔村大字阪本郷辻田留吉氏 明治2年4月7日生、北方開拓ノ雄図ヲ抱キ明治42年5月17日移民86戸ヲ率ヒ吉野団体長トシテコノ地ヲ開拓ス

往時ノ同志克ク一致協力今日ノ美田良甫子孫安住ノ礎ヲ築キタリ、指導者タル氏ノ偉大ナル功績ヲ讃ヘ記念碑ヲ建立後世ニ残ス

D08 利水



所在地 音江町内園
 建立年月日 昭和39年11月11日
 昭和49年11月26日移設
 建立者 発起人5名、受益者43名
 管理者 ー
 建立の由来等

開基70年先人開拓の余恵を継承し水田開発をもって100年の大計とする地区住民の意欲は発起人を船頭としてその実現を画するや諸般の情勢により挫折せんとする事幾度かに及ぶも機熟して神竜土地改良区に編入される所となり道当局竝に下流深川空知各土地改良区の御協力と相俟って内園地区開田計画が樹立され昭和35年5月起工全37年9月全工事の完成を見たのである。10年の宿願茲に達成只感無量である。この感激を永遠に伝へると共に此の事業推進に当り時の村長藤谷軍一神竜土地改良区理事長竹田栄松北海道農地開拓部技師多賀谷能富一の諸氏を始め関係各機関の寄せられたる御熱意に対し満腔の感謝をこの碑に刻んで之を記念するものである。

D09 用水路開発記念碑



所在地 音江町内園
建立年月日 昭和33年10月
建立者 関係住民
管理者 ー
建立の由来等

開発50周年を迎えるに当り茲に碑を建て先人の偉業を讃え後世に其の遺徳を伝へんとする。

D10 「交通安全を祈る」観音像



所在地 音江町国見
建立年月日 昭和38年5月
建立者 深川地区交通安全協会連
合会及び音江村村長
藤谷軍一
管理者 ー
建立の由来等

国道12号線国見峠の水呑場付近での事故が多発した為、当時の警察署長が村長に依頼して建立した。

D 1 1 交通安全地藏



所在地 音江町国見
建立年月日 昭和54年11月
建立者 東海運輸株式会社
管理者 ー
建立の由来等

昭和54年10月5日交通事故に依る犠牲者の冥福を祈り茲に交通安全地藏尊を建立する。

D 1 2 鬼川俊蔵歌碑



所在地 国見峠展望台
建立年月日 昭和17年
建立者 ー
管理者 教育委員会
建立の由来等

鬼川俊蔵は大正3年に深川で病院を開業。医業の傍ら短歌を中心とした文芸活動に傾注。深川の文芸活動に先駆的役割を果たした。

俊蔵は好んで音江に足を運び北原白秋が俊蔵を訪れた際にも国見峠に案内している。

歌碑は昭和17年石狩川河畔(深川橋もと)に建立されたものを平成6年10月ゆかりの地である国見峠に移設、一部修復したものである。

「砂山を 分ちてさむき大河の ほとばしる 水は 海にいきほふ」

D13 忠魂碑



所在地 音江神社境内
 建立年月日 大正9年6月
 建立者 音江村在郷軍人分会
 管理者 音江町忠霊奉賛会
 建立の由来等

音江村在郷軍人分会が土地の所有者より寄進を受け現在地に建立し日清・日露戦争戦没者より合祀し現在に至る。

D14 開校七十周年 記念の森「桜花爛漫」



所在地 深川西高同窓会林内
 建立者 深川西高同窓会
 建立年月日 平成20年10月19日
 管理者 深川西高同窓会
 建立の由来等

昭和16年3月、道有林52.45ヘクタールを有償で譲り受け学校林は誕生しました。植林を目的とした林地に毎年生徒が学校から通いながらの作業は想像を絶する難行であったと思われます。昭和19年、学徒の心身の鍛錬と植林の促進を目的とした宿泊可能な修練道場が教員と生徒の手で9月から2ヶ月程で林内に建設完成したと記録されています。

昭和38年8月、戦後の混乱期を経て、同窓会林として新たな育林の道をあゆみ始めたのであります。木材の生産から公的機能重視へとシフト変えをする中で、ハイキングコース開設、スキー場の設置、イルムケップスカイライン（自動車道）の整備による市民憩いの場へと70年の歴史は刻まれてきました。

今、多くの教師、卒業生の思い出の地に70年を記念し桜を植栽して末永く育まれることを願いながら……。

D 1 5 スポーツセンター用地造成記念



所在地 音江町音江
建立年月日 昭和46年10月
建立者 深川市
管理者 生涯学習スポーツ課
建立の由来等

この用地造成工事は陸上自衛隊のご理解とご好意により昭和43年より4年間の長きにわたり幾多の困難を克服して施工されたものでその偉業を讃えご労苦に深く感謝しこの碑を建立する。

D 1 6 鈴木雨亭の碑



所在地 青年の家構内
建立年月日 昭和43年10月26日
建立者 雪垣吟社一同
管理者 ー
建立の由来等

深川俳壇の鈴木雨亭氏が文化功労賞を受賞したことから雪垣吟社一同が建立した。

D17 青年の像（飛翔）



所在地 青年の家構内
建立年月日 昭和42年9月1日
建立者 北海道青年団体協議会
管理者 ー
建立の由来等

変ぼうする社会生活の中で現実に根ざしながら創造性を伸ばし、理想と真理の方向に飛翔する青年、新しい開拓者精神に燃え無限の可能性を信じ、たゆまぬ努力が、いつも男女の協調によって、平和な社会を建設している姿を象徴したものである。

制作者は、竹中敏洋氏

題字は、北海道知事 町村金五書

D18 青年の庭



所在地 青年の家構内
建立年月日 昭和42年
建立者 深川市
管理者 ー
建立の由来等

青年の家の前庭を青年の庭と名付けて建立したもので市長真鍋政之の書いたものである。

D 1 9 深沢吉平先祖の像



所在地 きたそらち農協音江金融
事務所内

建立年月日 昭和35年11月3日

建立者 ー

管理者 きたそらち農協

建立の由来等

昭和35年音江村名誉村民に推挙されたのを記念して建立。大正3年の冷害で零細な小作農民が食料すら手にすることができなかった時に恵みを求めるより自らの手でそれを生み出す農業を時対策に腐心した。その年村長となると傾斜地農業維持のため有畜酪農、造林、報徳を説いた。後に道議会議員を経て衆議院議員になった。

D 2 0 頭取吉の音大峠倉太の碑



所在地 音江墓地内

建立年月日 昭和9年8月15日

建立者 ー

管理者 ー

建立の由来等

初め音江小学校の近くに建立されたが青年の家の工事にかかって現在地に移された。

草相撲頭取の碑で社会的背景が変わった今では理解できないが頭取が占めていた社会的な立場を表したもの。

D 2 1 沖里河尋常高等小学校跡



所在地 豊泉コミュニティセンター
建立年月日 —
建立者 向陽小学校 50 周年記念協賛会
管理者 —
建立の由来等

昭和 11 年 7 月 31 日に統合のため閉校した沖里河尋常高等小学校跡を記す碑を建立。

昭和 61 年 8 月 24 日再建された。

D 2 2 史跡音江の環状列石



所在地 音江町向陽
建立年月日 昭和 32 年 11 月 3 日
建立者 文化財保護委員会
管理者 生涯学習スポーツ課
建立の由来等

昭和 31 年東京大学駒井和愛教授によって発掘調査が行われ、およそ 2000 年前のアイヌ民族のお墓であることを確認した。

これを記念して建立された。

題字は、文学博士 駒井和愛氏書

D 2 3 北海道文化財百選 音江の環状石籬



所在地 音江町向陽 環状列石付近
 建立年月日 昭和32年10月
 建立者 北海タイムス社寄贈
 管理者 生涯学習スポーツ課
 建立の由来等

昭和32年北海タイムス社が全道に呼びかけ、人気投票の末4位に入選したとき建立したものの。

D 2 4 閉校記念碑



所在地 向陽館
 建立年月日 平成5年2月21日
 建立者 閉校記念協賛会
 管理者 教育委員会
 建立の由来等

昭和11年8月25日に開校し、平成5年3月31日に閉校した向陽小学校の閉校を記念し、碑を建立したものの。



D 2 5 深川市立向陽中学校跡



所在地 向陽館
建立年月日 ー
建立者 向陽小学校 50 周年記念協賛会
管理者 教育委員会
建立の由来等

昭和 56 年 3 月 31 日に統合のため閉校した深川市立向陽中学校跡を記す碑を建立。

D 2 6 創農之碑



所在地 音江町向陽（稻荷神社境内）
建立年月日 昭和 39 年 8 月 27 日
建立者 宝利新一氏 外 5 名
管理者 ー
建立の由来等

明治 23 年新潟出身木村英作の入植に始まる江部乙村の有地農場の小作地開放は前田与作外 7 名の代表者により大正 13 年以降強力な運動を展開し幾多の困難を乗り越え昭和 16 年 12 月農地調整法の施行など時代の推移に加え江部乙町理事者議会の正しい判断と理解のもと全地解放を得ることができた。開放地の面積は田 160 町畑 56 町計 216 町小作戸数は 59 戸であった。地元ではこの開放創農の歴史を永く伝えるため昭和 39 年宝利新一外 5 名が建設委員となり現在地に創農之碑を建立した。

D 2 7 須麻馬内尋常高等小学校跡



所在地 音江町稲田
建立年月日 昭和61年8月24日
建立者 向陽小学校50周年記念協賛会
管理者 ー
建立の由来等
統合のため閉校した須麻馬内尋常高等小学校跡を記す碑を建立。

D 2 8 須麻馬内土功組合記念碑



所在地 稲田ダム駐車場
建立年月日 昭和14年5月
建立者 須麻馬内土功組合
管理者 空知土地改良区
建立の由来等
昭和2年9月、酪農地の須麻馬内に灌漑事業が認可され、この地が開田され、ここに土功組合が設立されたことを記念して建立。

D 2 9 圃場整備之碑



所在地 稲田コミュニティセンター
建立年月日 昭和54年9月21日
建立者 稲田地区道営圃場整備事業
促進期成会

管理者 ー
建立の由来等 (碑誌抜粋)

稲田地区は近年我が国の高度経済成長政策により、他産業への労働力の流出と、強まる所得格差は、急激に農業経営を圧迫し、速やかな転換を迫られる状態に立ち到った。

我々は相諮り、圃場等生産基盤の整備と、大型農業機械による省力化のため、道営圃場整備事業の導入を決意し、昭和44年計画採択、翌年着工、同52年工事完成を見たものである。

本事業完成の記念碑を建立するに当り、その経緯と意義を茲に銘記し、之が永く後進に受継がれ、この地区と俱に限りなく繁栄する事を深く念じてやまない。

D 3 0 経営体育成基盤整備事業竣工記念碑



所在地 稲田コミュニティセンター
建立年月日 平成18年3月27日
建立者 稲田向陽地区担い手育成基
盤整備事業促進期成会

管理者 ー
建立の由来等

明治24年向陽同28年稲田に開拓の鋤がおろされ、その間営々と米作りに切磋琢磨し、昭和52年道営圃場整備事業が完了し大型機械が導入され大型化の道を歩み始めたが一転米余り状態に至り、美田に転作を余儀無くされ田畑転換を目的に平成9年期成会発足、同13年事業が採択され、透水性の改善、区画の整理、用排水路整備を主体に農業に担い手育成を目指し着工され本年竣工となり、ここに竣工記念碑を建立する。

D 3 1 杉本翁之碑



所在地 音江町稲田
建立年月日 昭和 30 年 6 月
建立者 受益者 前田岩太他 36 名
管理者 ー
建立の由来等

杉本勇治翁万延元年 1 月 17 日奈良県吉野郡川上村に生まれ昭和 19 年 85 才の天壽を完うす。

翁は明治 31 年 9 月拓志を抱き渡道此地に百数十町歩の荒野を得克く苦難を退け幾星霜農場を聖宮昭和 10 年 6 月衆望に応へ率先全地を開放す之倫に耕作者を思ふ心情の表徴にして誠に感激に堪へない。

尔来 20 年我等 30 余名翁の恩恵を偲び本碑を建立し永劫に遺徳を顕彰する。



E 0 1 雨竜川総合開発記念碑



所在地 鷹泊自然公園
建立年月日 昭和44年5月11日
建立者 関係土地改良区
管理者 多度志土地改良区
建立の由来等

明治の中期先人は雨竜川を基幹として千古の密林を拓き水田地域開発の緒を開いた。爾来時代の変転に従い流域一帯の森林過伐は極度にかんがい用水の不足を招き且大平洋戦争終結により食糧難は深刻化した。昭和22年流域9ヶ町村は雨竜川水利開発期成会を結成し既成水田五千町歩の補水と千七百町歩の新規開田を企画しその対策に全力を挙げた。全25年北海道総合開発事業の先駆としてこの地を選び多目的ダムの建設に着手し全28年めでたく完工した。引続き拾有余年国営、道営かんがい排水事業等の実施により地域の農業頓に躍進、聖営彌々安定しつつある。茲に地域住民共に雨竜川総合開発の偉業を讃え永くこれを後世に伝える。

E 0 2 協栄橋架橋記念碑



所在地 鷹泊(ヌップ)
建立年月日 昭和48年11月
建立者 地区住民一同
管理者 —
建立の由来等

明治中期この地に開拓の鉞が下されて以来險難な山道と野獣の危険に曝されながら往来した先人は、ここに橋の必要を叫び、その運動は今日に及んだ。

たまたま道営圃場整備事業の推進に当たり北海道議会議員大平秀雄氏、深川市長真鍋政之氏、多度志町土地改良区理事長平林喜一氏らの奔走により、遂に、架橋の実現を見るに至る。

これにより生活、文化、経済の向上は言うを待たず住民の歓喜はこの上ない。

ここに、協栄橋と名づけ、永く住民団結の表標とすると共に、開拓先人の功勞に酬いんとするものである。

E 0 3 二宮尊徳像



所在地 リフレッシュプラザ鷹泊
 建立年月日 昭和37年10月
 建立者 柴田正雄氏他2名寄贈
 管理者 教育委員会

建立の由来等

鷹泊小学校開校60周年を記念して同窓生医学博士柴田正雄氏らより寄贈されたもの。

E 0 4 閉校記念碑



所在地 幌成コミュニティセンター
 建立年月日 平成9年2月23日
 建立者 幌成小学校閉校記念協賛会
 管理者 —

建立の由来等

創立88年の栄光を讃え閉校記念碑を建て後生に永く伝える。



E 0 5 閉校記念碑



所在地 宇摩会館
 建立年月日 平成12年11月
 建立者 宇摩小学校同窓生一同
 管理者 ー
 建立の由来等

ここに68年の歴史を持つ宇摩小学校の閉校を記念し、碑を建立する。



E 0 6 開田記念碑



所在地 宇摩会館
 建立年月日 昭和39年9月5日
 建立者 多度志土地改良区支線上宇摩組合
 管理者 ー
 建立の由来等

明治33年鈴木辨治が石橋農場の白山官治より種籾を譲受け、山口健治所有の低湿地に水稻試作に成功したのが、当部落米作りの始まりである。(中略)

茲に開田50周年を記念し旦部落の美風を永く子孫に相続させるためにこの記念碑を建立するものである。

E 0 7 開拓記念碑



所在地 宇摩神社境内
 建立年月日 昭和9年4月
 建立者 ー
 管理者 ー
 建立の由来等

明治28年愛媛県宇摩郡ノ住民42戸団
 長真鍋家董副団長潮見仙五郎等引率渡道
 滝川村ニ仮寓シ同30年6月此地ニ起居
 開拓ニ従フ 同33年各自労力金品ヲ以
 テ草屋ヲ作り子弟教育ヲ始ムコレ宇摩小
 学校ノ前身ナリ同年9月郷里八幡宮ノ御
 分靈ヲ迎テ神殿ヲ建立ス 大正3年135
 町歩ノ造田ヲ企テ蒸気揚水機ヲ設置シ昭
 和9年電力揚水機ニ改造セリ 茲に開拓
 ノ根柢ヲ録シテ後世ニ伝フ

E 0 8 故真鍋家董碑



所在地 宇摩神社境内
 建立年月日 昭和26年9月6日
 建立者 部落一同
 管理者 ー
 建立の由来等

愛媛県宇摩郡関川村真鍋義三郎長男神
 職中講義愛媛県ヨリ同郡野田村八幡神
 社々掌常命讚州金刀比羅神社月並祭山勤
 明治26年42団体組織団長トシテ入植、
 入植後30年度第2団体引率依媛丸乗船
 病魔ニ襲道房州館山上陸東都帰途46歳
 没

E 0 9 剛雄日新 不撓不屈



所在地 旧多度志中学校
建立年月日 平成4年8月30日
建立者 記念事業協賛会
管理者 教育委員会
建立の由来等
開校45周年・統合20周年を賛えて之を建てる。

E 1 0 開拓記念碑



所在地 湯内神社境内
建立年月日 大正14年9月18日
建立者 —
管理者 —
建立の由来等
不明

E 1 1 湯内教育発祥の地



所在地 中央公民館湯内分館
建立年月日 昭和54年6月
建立者 湯内教育振興会・湯内同窓会
管理者 教育委員会
建立の由来等

旧湯内小学校・中学校跡地に地域住民が教育発祥の地を記す記念碑を建立。

E 1 2 若林部落開拓記念碑



所在地 多度志町若林
建立年月日 大正13年9月
建立者 発起者 若林青年会員八熊多市他30名

管理者 一
建立の由来等

多度志の東南若林部落あり面積5百町歩山を負ひ谿に臨み別に一区をなす此地若林乙吉君の経営する処故をもって地名となす君佐渡羽茂本郷の八源蔵の次子也明治29年深川町に移住し商を業となす資性谿達にして大度あり任侠に接す郷党以て範となす38年地を多度志に相し愛撫勉勸頗る努む33年土地の附与を受け大正7年農場の大部分を割き部落民に分譲し別に三線の一劃及事務所壺棟を青年会の基本財産に提供し教育指導の資となす若林青年会の殷をなす君の興って大なり宣なるかな部落民の君を敬慕して止まざることや茲に相謀り碑を建て君の徳を頌し永く後に伝ふと爾去。

E 1 3 開拓記念碑



所在地 多度志診療所
建立年月日 大正14年9月
建立者 建設発起人 南藤吉他12名
管理者 多度志町地域振興対策協議会

建立の由来等

多度志村開村30年を記念して農場主石橋末吉の雄図を刻んでいる。

平成11年に旧多度志小学校敷地から現在地に移設。

E 1 4 忠霊塔



所在地 多度志神社境内
建立年月日 昭和31年8月
建立者 忠霊塔奉賛会
管理者 忠霊塔奉賛会
建立の由来等 (沿革抜粋)

如上五十年の星霜を閲し合祀忠霊實に百余柱年々歳々奉賛の誠を捧げしも偶々昭和二十八年以来忠霊塔建設の議怒るや村民総意の赴くところ本日茲に實現の運びに至り旧碑石はその歴史的尊嚴性に鑑み八月三日本塔中心位置に礎石として埋鎮す。

題字は、三上光雲氏書

E 1 5 南無阿弥陀仏



所在地 多度志神社境内

建立年月日 大正 12 年 8 月 10 日

建立者 運搬業一同

管理者 ー

建立の由来等

大正 6 年 8 月 10 日没 堀田太市

大正 12 年 8 月 10 日運搬業一同建立

平成 28 年頃現在地に移設。

E 1 6 銅像水谷隆毅翁之像



所在地 旧多度志支所

建立年月日 昭和 55 年 9 月 15 日

建立者 多度志町水谷隆毅翁顕彰期成会

管理者 多度志支所

建立の由来等

水谷隆毅翁は明治 28 年三重県長島領庄屋総代を祖父として生を享け明治 37 年父九七二氏と共に渡道、大正 8 年多度志町に転居、木材業、鋳業、漁業を兼業し家運は隆昌した。

翁は公共心篤く幾多の公職を歴任し特に昭和 22 年本町の初代民選首長に当選以来昭和 45 年深川市との合併実現まで実に 23 年に亘り町勢の振興に尽した功績は誠に偉大なるものがある。

ここに拳町一致翁の偉業に感謝しその至徳を讃え胸像を建立し永く後世に伝える。

期成会から昭和 55 年 9 月 1 日深川市へ受納。

E 1 7 圃場整備記念



所在地 旧多度志支所
 建立年月日 昭和 50 年 9 月 11 日
 建立者 多度志土地改良区
 管理者 多度志土地改良区
 建立の由来等

当改良区は昭和 22 年以來、他に先駆けてダム及びかんがい排水事業など土地改良事業を積極的に実施し、引続き昭和 42 年から農業経営近代化の早期実現をめざし、多度志町、農業協同組合、土地改良区の 3 者が 1 体となり、圃場整備事業促進協議会を結成し、道営圃場整備事業の推進につとめた。以来 8 ケ年、関係諸官庁の尽力により事業の完遂を見るに至った、これを記念し、碑を建て永く後に伝える。

E 1 8 故笠原元次郎の碑



所在地 旧多度志支所
 建立年月日 昭和 10 年 5 月
 建立者 多度志村有志一同
 管理者 多度志支所
 建立の由来等

笠原元次郎翁ハ市次郎氏ノ長子ニシテ慶應二年五月六日滋賀縣坂田郡長濱町ニ生ル家ハ代々刀鍛冶ヲ業トセリ

翁資性剛毅英邁果斷ニ富ム弱年ニシテ父母ヲ亡ヒ幼少ヨリ忍苦辛勞十有二年明治二十七年盟友西田天香氏ト共ニ栗澤村字清真布必成社農場ニ移住シ幹部員トシテ二十有余年刻苦精勵墾闢に努メ以テ社運ノ隆昌ニ奇興スル所アリタリ

抑モ宮本農場ハ遠ク明治二十九年兵庫縣人石橋来吉氏ノ創業ニ濫觴ス其後安達吉弥氏之ヲ繼承シ大正四年五月必成者ノ分身タル株式會社近江農場ト成ルニ方リ翁ハ之カ管理人トナル更ニ大正十三年二月株式會社宮本農場ニ移讓スルニ及ヒ翁ハ重テ管理ニ任シ前後二十有余年一意專念農場ノ發展ヲ策シ終生餘カヲ社會公共ノ事ニ傾注シ昭和六年七月廿五日病ノ為メ長逝ス干時六十六歳ナリ茲ニ有志胥謀リ碑ヲ建テ以テ厥ノ徳ヲ不朽ニ傳フ

E 1 9 開基記念



所在地 旧多度志支所
建立年月日 昭和40年9月
建立者 多度志町
管理者 総務課
建立の由来等

明治29年兵庫県の人、故石橋末吉氏千古の密林を拓き本町開基の緒を開いた。爾来時代の変遷と共に開発日に進み昭和37年町制の施行に伴い町勢頓に躍進挙町その拓志を嗣きつつある。茲に開基70年を迎え烈々の開拓精神と偉業を讃え永くこれを見孫に伝える。

E 2 0 宮本農場開放記念



所在地 旧多度志支所
建立年月日 昭和13年6月15日
建立者 伊藤重太郎氏外5名
管理者 —
建立の由来等

宮本農場は大正8年帯広市宮本富次郎が栗沢村の株式会社必成社近江農場より購入笠原元次郎を管理人として経営にあたっていたが昭和2年の大凶作以来農家の経済状況が著しく悪化農民は疲弊困憊するに至り農場の自作農創設を懇請。昭和10年農場主の理解により小作人は僅少の負担を以って全地開放を得ることができた。解放時の耕地面積は田182町畑116町計298町小作戸数98戸であった。この開放を記念した小作人伊藤重太郎、山田甚一、鐘山幸一郎、小田長吉、青野貞一及び鈴木重太郎が発起人となり道道納内多度志停車場線と市道若林一已線の交差点に宮本農場解放記念碑が建立された。その後昭和42年に道道拡幅工事のため旧多度志町役場敷地に移設され現在に至っている。

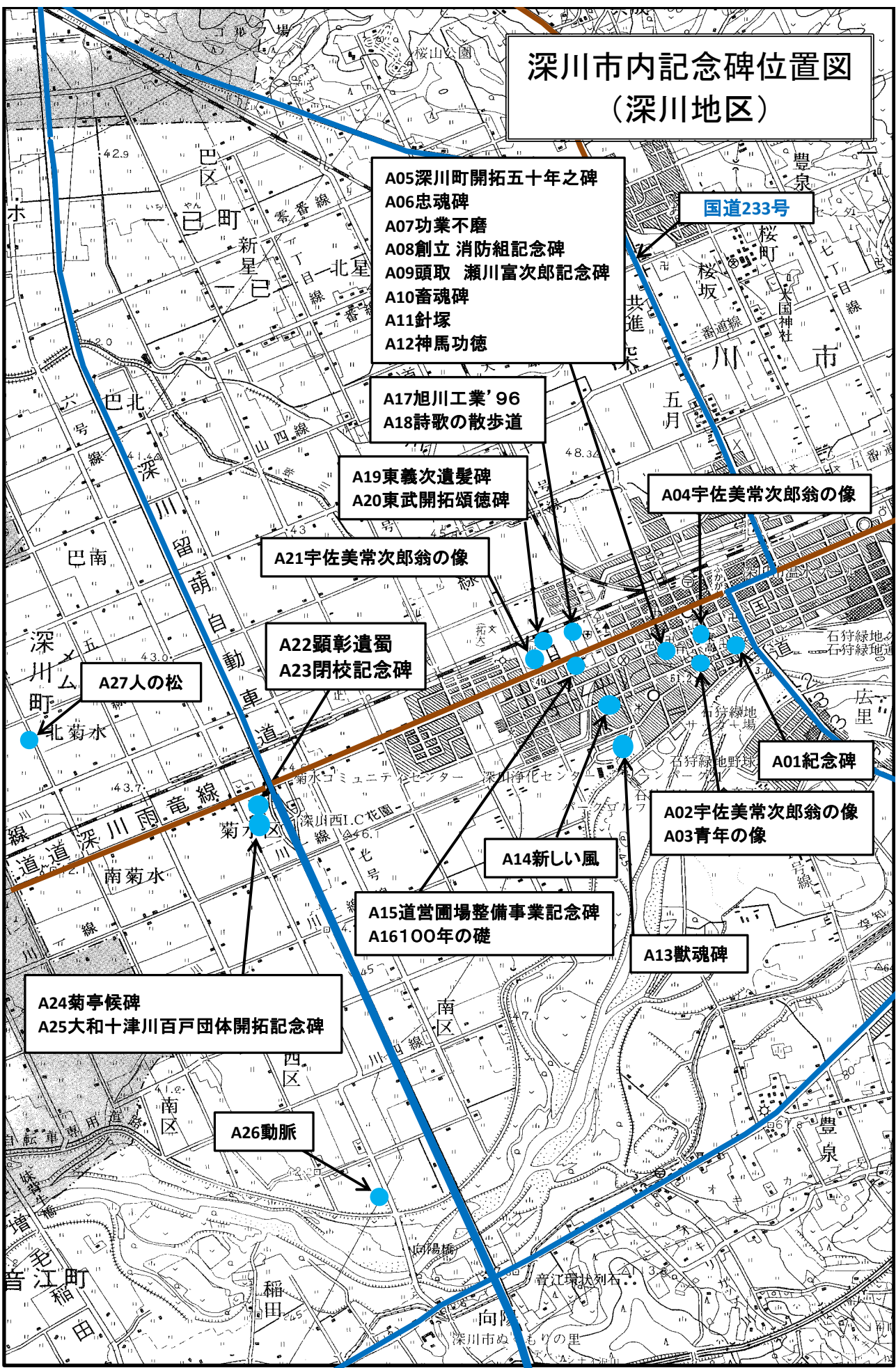
E 2 1 故南藤吉之碑



所在地	多度志町多度志
建立年月日	—
建立者	—
管理者	—
建立の由来等	不明

付録 深川市内記念碑位置図

深川市内記念碑位置図 (深川地区)



A05 深川町開拓五十年之碑
 A06 忠魂碑
 A07 功業不磨
 A08 創立 消防組記念碑
 A09 頭取 瀬川富次郎記念碑
 A10 畜魂碑
 A11 針塚
 A12 神馬功德

国道233号

A17 旭川工業'96
 A18 詩歌の散歩道

A19 東義次遺髪碑
 A20 東武開拓頌徳碑

A04 宇佐美常次郎翁の像

A21 宇佐美常次郎翁の像

A22 顕彰遺蜀
 A23 閉校記念碑

A27 人の松

A01 記念碑

A02 宇佐美常次郎翁の像
 A03 青年の像

A14 新しい風

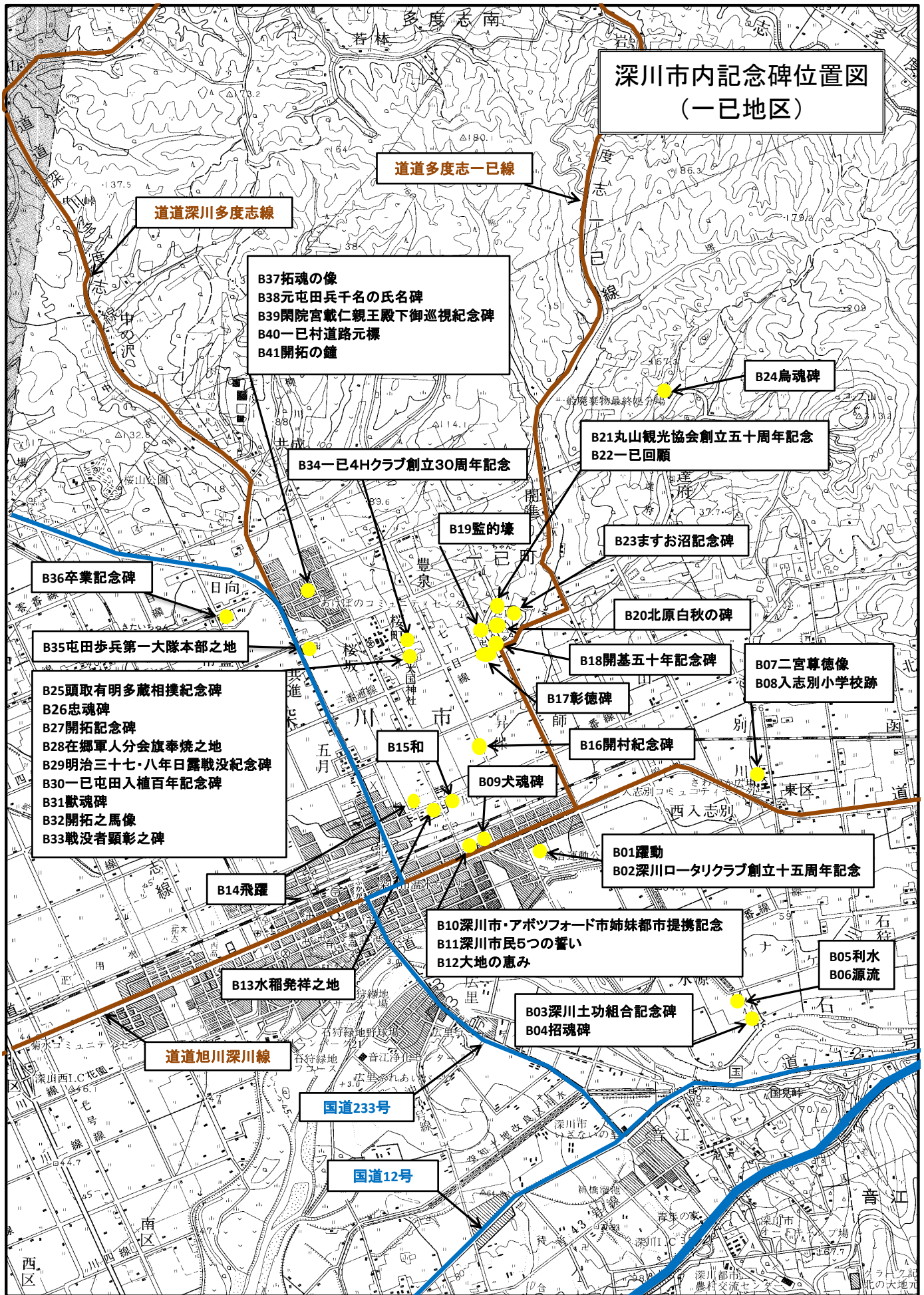
A15 道営園場整備事業記念碑
 A16 100年の礎

A13 獣魂碑

A24 菊亭候碑
 A25 大和十津川百戸団体開拓記念碑

A26 動脈

この地図は国土地理院長の承認を得て同院発行の五万分の一地形図を複製した地図(承認番号平14、道複第529号)「深川市全図」の一部に加筆したものである。



深川市内記念碑位置図
(一已地区)

道多度志一已線

道深川多度志線

- B37拓魂の像
- B38元屯田兵千名の氏名碑
- B39閑院宮戴仁親王殿下御巡視記念碑
- B40一已村道路元標
- B41開拓の鐘

B24鳥魂碑

B21丸山観光協会創立五十周年記念
B22一已回順

B34一已4Hクラブ創立30周年記念

B19監的塚

B23ますお沼記念碑

B36卒業記念碑

B20北原白秋の碑

B35屯田歩兵第一大隊本部之地

B18開基五十年記念碑

B07二宮尊徳像
B08入志別小学校跡

- B25頭取有明多蔵相撲記念碑
- B26忠魂碑
- B27開拓記念碑
- B28在郷軍人分会旗奉焼之地
- B29明治三十七・八年日露戦没記念碑
- B30一已屯田入植百年記念碑
- B31獣魂碑
- B32開拓之馬像
- B33戦没者顕彰之碑

B15和

B17彰徳碑

B16開村記念碑

B09犬魂碑

B01躍動
B02深川ロータリクラブ創立十五周年記念

B14飛躍

B10深川市・アボツフォード市姉妹都市提携記念
B11深川市民5つの誓い
B12大地の恵み

B05利水
B06源流

B13水稲発祥之地

B03深川土功組合記念碑
B04招魂碑

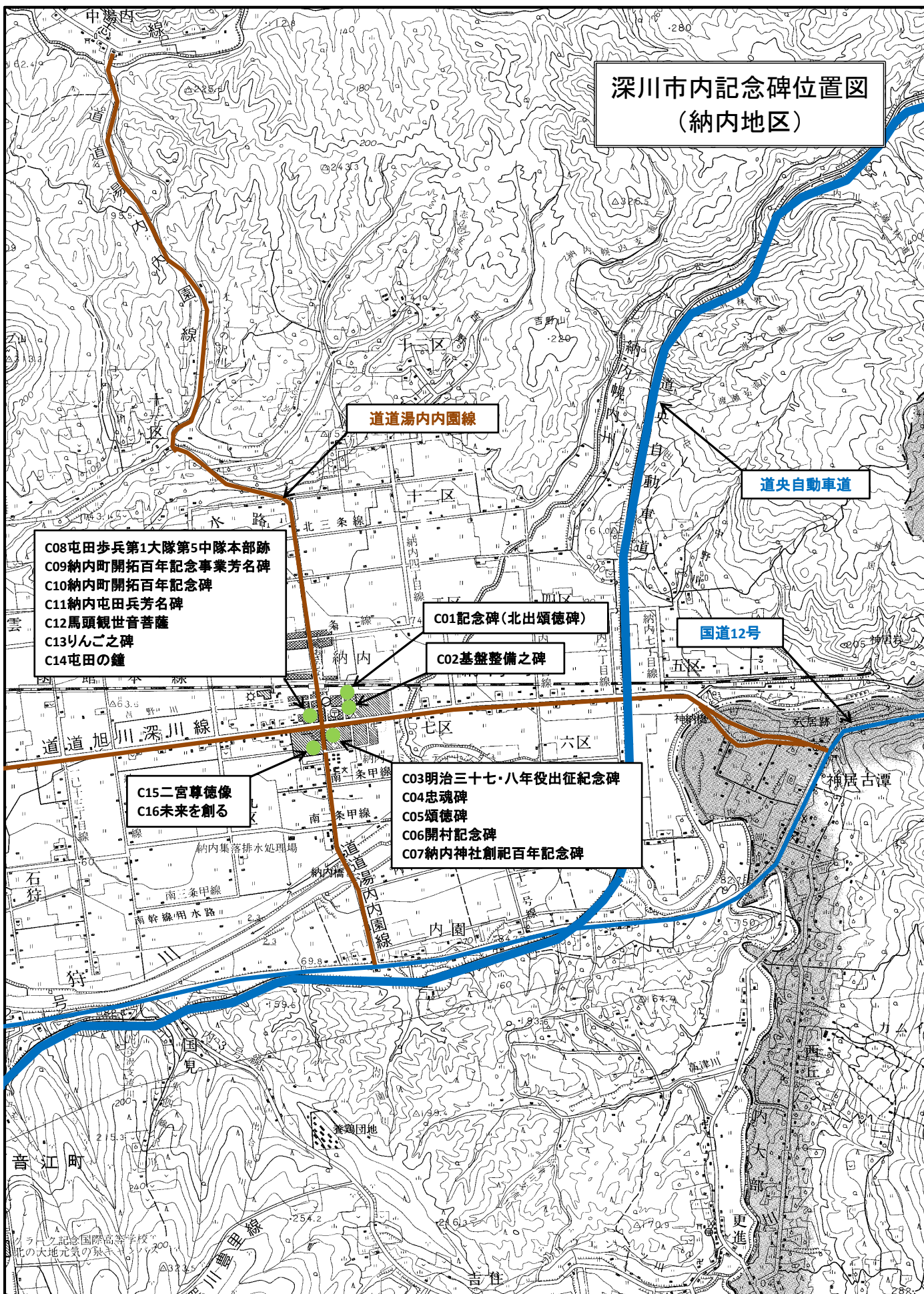
道旭川深川線

国道233号

国道12号

この地図は国土地理院長の承認を得て同院発行の五万分の一地形図を複製した地図(承認番号平14、複製第529号)「深川市全図」の一部に加筆したものである。

深川市内記念碑位置図 (納内地区)

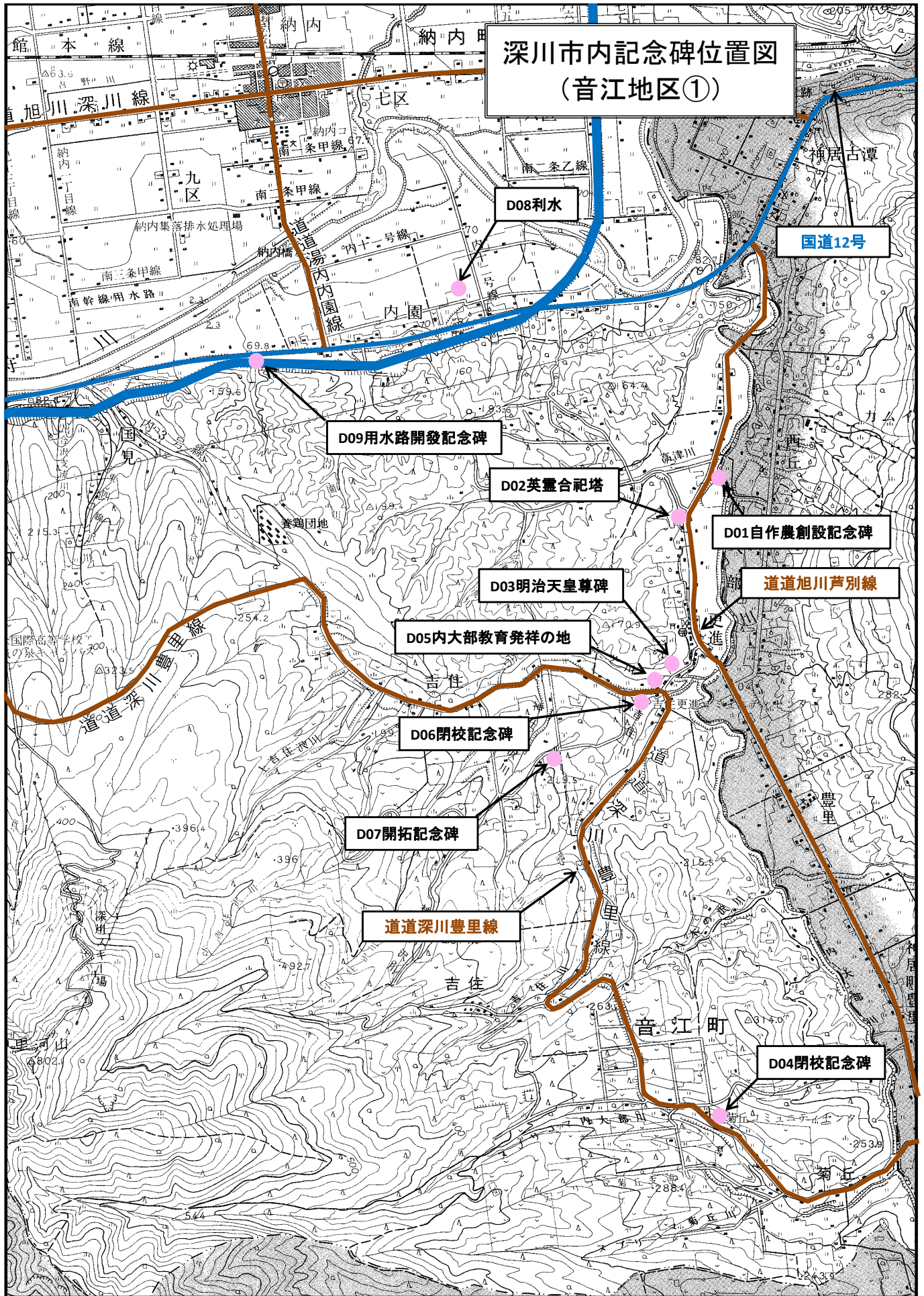


- C08 屯田歩兵第1大隊第5中隊本部跡
- C09 納内町開拓百年記念事業芳名碑
- C10 納内町開拓百年記念碑
- C11 納内屯田兵芳名碑
- C12 馬頭観世音菩薩
- C13 りんご之碑
- C14 屯田の鐘

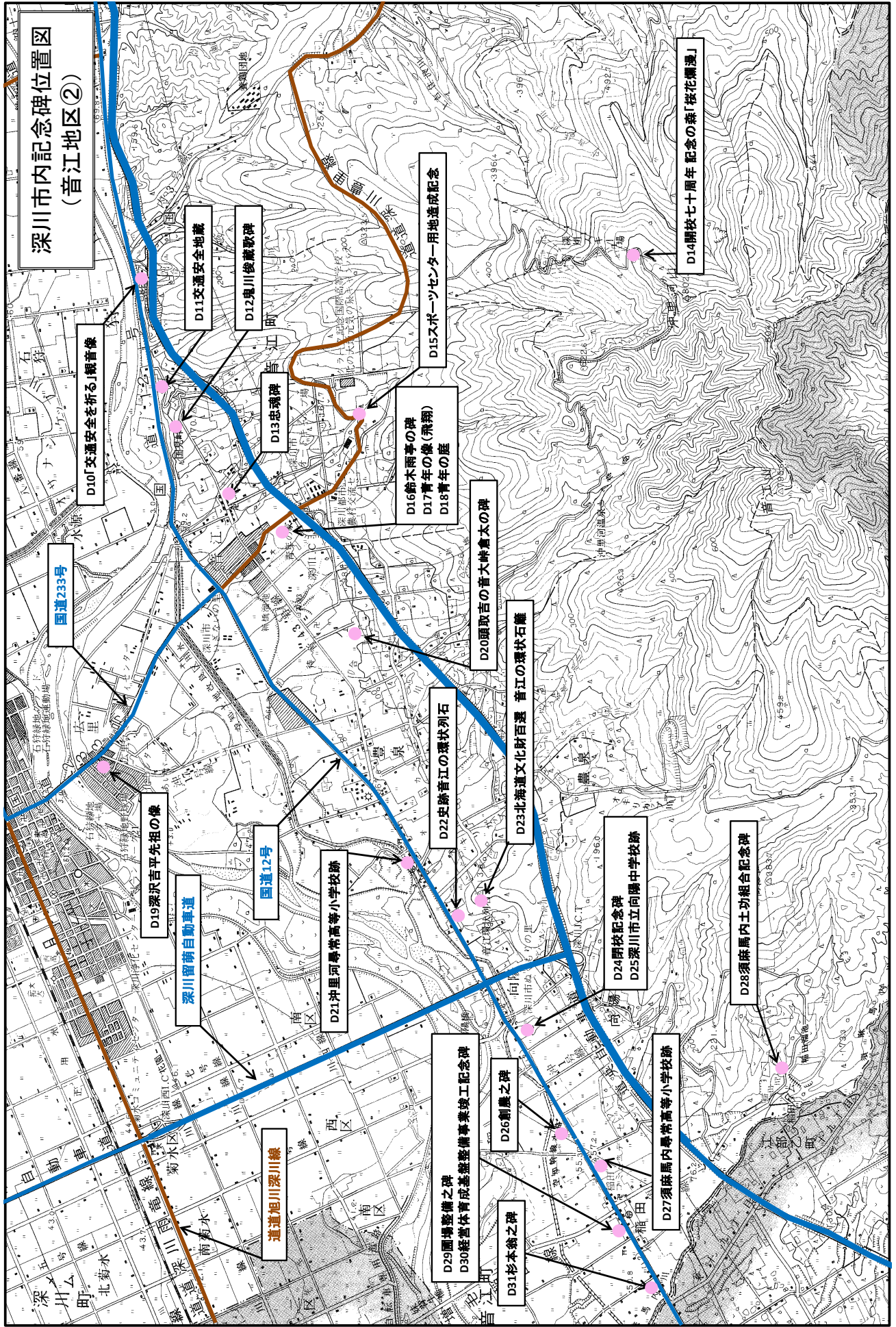
- C01 記念碑(北出頌徳碑)
- C02 基盤整備之碑

- C15 二宮尊徳像
- C16 未来を創る

- C03 明治三十七・八年役出征記念碑
- C04 忠魂碑
- C05 頌徳碑
- C06 開村記念碑
- C07 納内神社創祀百年記念碑

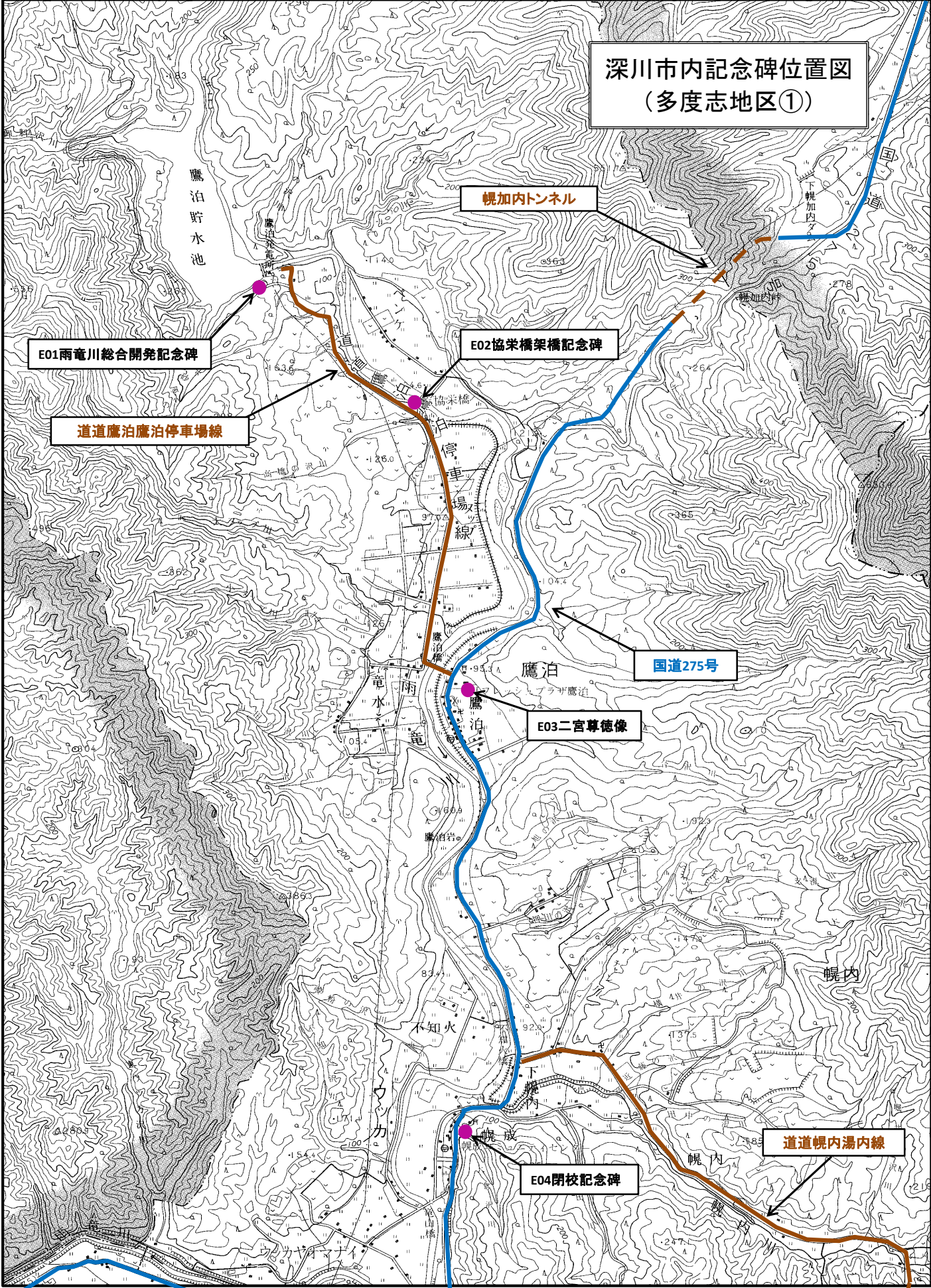


この地図は国土地理院長の承認を得て同院発行の五万分の一地形図を複製した地図(承認番号14, 道複製529号)「深川市全図」の一部に加筆したものである。



この地図は国土地理院長の承認を得て同院発行の五万分の一地形図を複製した地図(承認番号平14-運第529号)「深川市全図」の一部に加筆したものである。

深川市内記念碑位置図 (多度志地区①)



E01雨竜川総合開発記念碑

道道鷹泊鷹泊停車場線

梶加内トンネル

E02協栄橋架橋記念碑

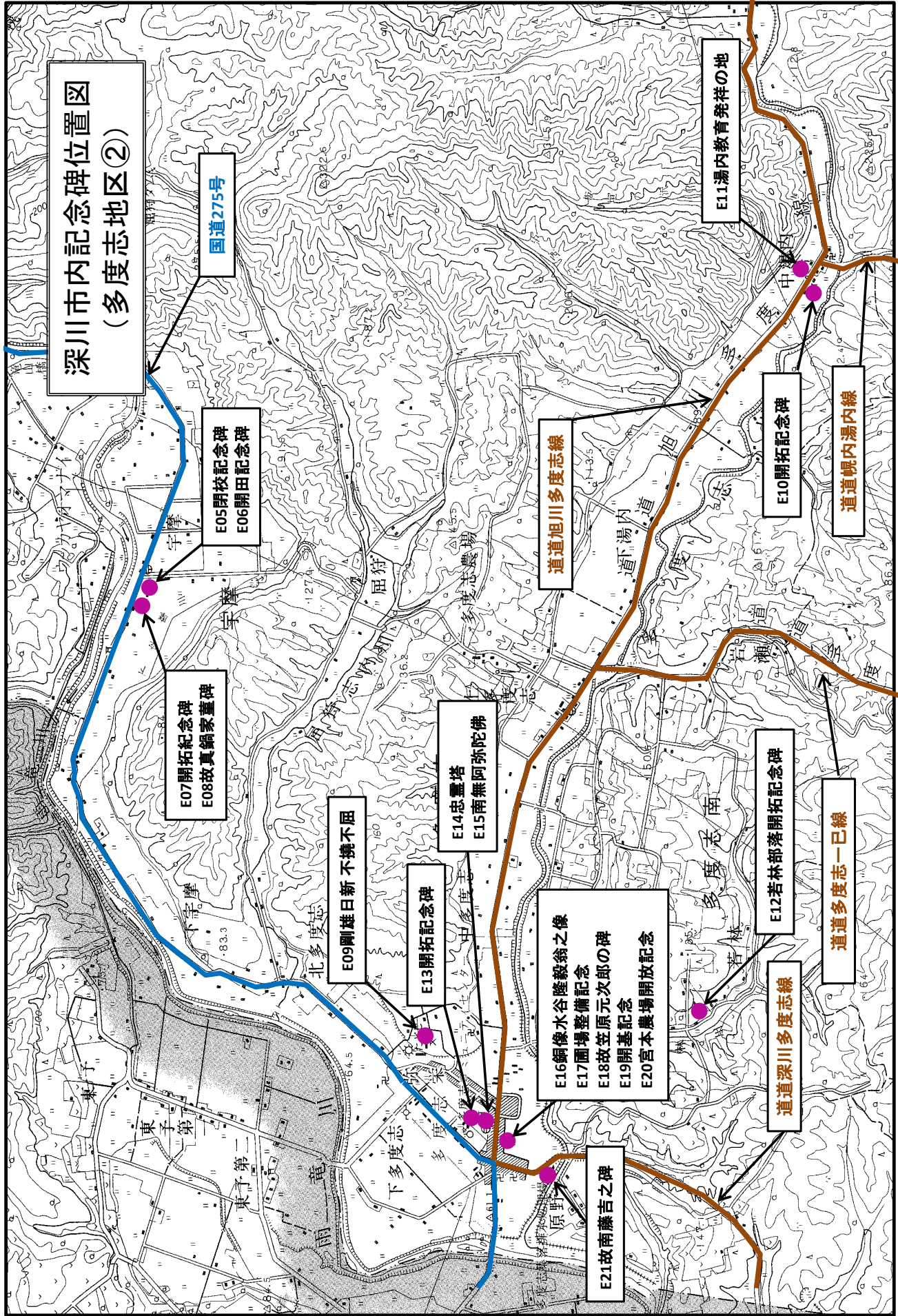
国道275号

E03二宮尊徳像

E04閉校記念碑

道道梶内湯内線

この地図は国土地理院長の承認を得て同院発行の五万分の一地形図を複製した地図(承認番号平14、道様第529号)「深川市全図」の一部に加筆したものである。



この地図は国土地理院院長の承認を得て同院発行の五万分の一地形図を複製した地図(承認番号平14、道様第629号)「深川市全図」の一部に加筆したものである。

石に刻まれた歴史
深川の記念碑

発行日 令和5年1月
発行者 北海道深川市
住 所 〒074-8650 深川市2条17番17号
電 話 0164-26-2228 (企画総務部総務課)
FAX 0164-22-8134
Email soumu@city.fukagawa.lg.jp